

令和6年第1回那須烏山市議会3月定例会（第5日）

令和6年3月5日（火）

開議 午前10時00分

散会 午後 4時09分

◎出席議員（14名）

1番	高 木 洋 一	2番	福 田 長 弘
3番	荒 井 浩 二	4番	堀 江 清 一
5番	興 野 一 美	6番	青 木 敏 久
7番	矢 板 清 枝	9番	小 堀 道 和
10番	相 馬 正 典	11番	田 島 信 二
12番	渋 井 由 放	14番	中 山 五 男
15番	高 田 悦 男	16番	平 塚 英 教

◎欠席議員（1名）

8番 滝 口 貴 史

◎説明のため出席した者の職氏名

市長	川 俣 純 子
副市長	熊 倉 精 介
教育長	田 代 和 義
会計管理者兼会計課長	高 田 勝
総合政策課長	菊 池 義 夫
まちづくり課長	小原沢 一 幸
総務課長	佐 藤 博 樹
税務課長	川 俣 謙 一
市民課長	大 谷 啓 夫
福祉事務所長兼健康福祉課長	岡 誠
こども課長	水 上 和 明
農政課長	深 澤 宏 志
商工観光課長	星 貴 浩
都市建設課長	佐 藤 光 明
学校教育課長	大 鐘 智 夫

生涯学習課長

黒 尾 明 美

◎事務局職員出席者

事務局長

菊 地 唯 一

書 記

渡 辺 睦 美

書 記

村 上 和 史

○議事日程

日程 第 1 議案第1号～第8号 令和6年度那須烏山市一般会計・特別会計・水道
事業会計・下水道事業会計予算について ※質疑～委員会付託

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

[午前 10 時 00 分開議]

○議長（渋井由放） 皆さん、おはようございます。

傍聴席の皆様方には、お忙しい中、お越しをいただきまして、誠にありがとうございます。

ただいま出席している議員は 14 名です。

8 番滝口貴史議員から欠席の通知がございました。

定足数に達しておりますので、ただいまから会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎日程第 1 議案第 1 号～第 8 号 令和 6 年度那須烏山市一般会計・特別会計・水道事業会計・下水道事業会計予算について ※質疑～委員会付託

○議長（渋井由放） 日程第 1 議案第 1 号から議案第 8 号までの令和 6 年度那須烏山市一般会計予算、令和 6 年度那須烏山市国民健康保険特別会計予算、令和 6 年度那須烏山市熊田診療所特別会計予算、令和 6 年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計予算、令和 6 年度那須烏山市介護保険特別会計予算、令和 6 年度那須烏山市境財産区特別会計予算、令和 6 年度那須烏山市水道事業会計予算、令和 6 年度那須烏山市下水道事業会計予算の令和 6 年度当初予算 8 議案を一括して議題といたします。

本件については、去る 2 月 27 日の本会議において提案理由の説明が終了しております。

直ちに質疑に入りますが、所管の委員会に関する事項は、委員会審査において質疑されるようお願いいたします。

また、議会運営に関する申合せにより、質疑の持ち時間を答弁を含めて 30 分以内としております。30 分を超えましたら終了を求めますので、御了解願います。

質疑、答弁は、簡潔明瞭にされるよう、この際申し添えます。

それでは、これより質疑に入ります。

1 番高木洋一議員。

○1 番（高木洋一） おはようございます。1 番高木洋一でございます。

通告に基づきまして、質問させていただきます。

概要版 8 ページ、中小企業振興対策事業費、700 万円につきまして、社会情勢の変化への対応、経営課題解決に向けた取組とございますが、詳細をお伺いいたします。

概要版 10 ページ、消防団活動費、80 万円、消防自動車運転に必要な免許の取得の助成とございますが、免許の区分、種類をお伺いいたします。

概要版同じく 10 ページ、消防施設整備費、5,705 万 4,000 円、消防車両の更新とご

ざいますが、何台の更新があるのかお伺いいたします。

概要版11ページ、エネルギー対策事業費、新規事業でございますが、詳細をお伺いいたします。

予算書45ページ、JR烏山線利用促進事業費、976万7,000円について具体的な事業内容をお伺いいたします。

予算書47ページ、住宅リフォーム助成事業費、601万7,000円について詳細をお伺いいたします。

予算書69ページ、園芸振興事業費、750万円について詳細をお伺いいたします。

予算書69ページ、新規就農総合支援事業費、530万円について具体的な支援内容をお伺いいたします。

予算書69ページ、農業基盤整備促進事業費、1,134万6,000円について詳細をお伺いいたします。

予算書73ページ、観光振興費、1,754万4,000円について詳細をお伺いいたします。

予算書75ページ、観光協会支援事業費、1,290万円について詳細をお伺いいたします。

予算書79ページ、大桶運動公園施設整備費、5,582万5,000円、大桶運動公園管理棟の改修とございますが、具体的な改修内容をお伺いいたします。

予算書79ページ、清水川せせらぎ公園整備費、990万円、新規事業の詳細をお伺いいたします。

予算書81ページ、防災集団移転促進事業費、1億5,205万9,000円について詳細をお伺いいたします。

以上14項目です。よろしくお願いします。

○議長（渋井由放） 星商工観光課長。

○商工観光課長（星 貴浩） それでは、一番最初に出てきました、まず、概要版8ページの中小企業振興対策事業費について御説明させていただきます。

こちらは、社会情勢の変化への対応と経営課題解決に向けた取組への助成ということで、中小企業に向けまして6つの補助メニューを設けました。実際、令和5年度もあるんですけども、その予算総額は700万円でございます。

まず、一つは、県外イベント出展等事業費補助金、こちらが30万円でございます。空き店舗対策新規出店者開業費用支援事業費補助金、こちらが100万円でございます。まちなか商店にぎわい支援事業費補助金、こちらが40万円。創業者支援補助金、こちらが100万円。特許権等取得出願事業費補助金、こちらが30万円。それと、最後に申し上げますが、令和6年度の新規になりますけれども、経営課題解決事業費補助金、こちらが400万円になって

ございます。

こちらにつきまして、ちょっと1回説明させていただきます。

経営課題の解決に取り組む事業者支援のために、その経費を支援するものでございます。商工会の支援を受けまして、まず、その事業者の経営課題を洗い出します。その課題を解決するための経営課題解決事業計画を商工会とともに策定していただきます。その計画を実施するために必要な経費を支援していきたいと思っております。こちらですけれども、事業の実施に当たっても、商工会が計画どおりにそれが実施されているかどうかを関与していきたいと思っております。

以上6本の分がこの700万円でございます。

併せまして、予算書73ページについて御説明させていただきたいと思っております。観光振興費でございます。こちら、主なものを説明させていただきます。

まず、デジタル復元による城下町魅力発信事業、1,100万円、こちらは国史跡になりました烏山城跡を活用した城下町の魅力発信事業でございます。デジタル田園都市国家構想交付金を活用したいと思っております。烏山城跡や城下町の町割りをデジタル復元しまして、烏山城跡を中心に城下を周遊するコンテンツを作成していきたい。さらに、お食事どころですとか、甘味どころでの食べ歩きができるまちなか周遊を推進していきたいと思っております。同様にこちらを使いまして、市内小中学生の歴史の学びの場の提供をしていきたい。こちらはスマートフォンを使ったシステムになってございます。

また、観光案内板の更新事業としまして110万円を計上させていただきました。こちらは、JR烏山駅前、大金駅前、龍門ふるさと民芸館に設置しております大型観光案内板、そちらを更新していきたいと思っております。

それと、道路案内標識の更新でございます。こちらは301万4,000円。旧烏山町時代に町道境に大型看板を設置しました。7か所あるんですけれども、そのうち、今回、県道64号線、宇都宮向田線にある1基と、県道27号線、主要地方道、那須黒羽茂木線の小原沢地内にあるもの、かなり傷んでおりますので、そちらを更新していきたいと思っております。

予算書75ページ、観光協会支援事業費について御説明させていただきます。

まず、こちらは観光協会の補助金としまして1,100万円、円滑な観光事業の推進、観光協会の自主的な運営を支援するということで毎年補助しております。

それと、新規で那須烏山市観光協会への業務委託、190万円を考えてございます。こちらは、今まで市が行ってございましたフィルムコミッション、あるいは各種イベントへの参加、その他の観光プロモーションの業務を観光協会に委託することで、実質的に観光協会が仕事をやることで推進体制の強化を図っていきたいということでございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 概要版10ページ、消防団活動費、消防自動車運転に必要な免許の取得の助成でございます。まず、種類は、準中型自動車運転免許の取得に要する経費とオートマ限定解除に要する経費でございます。補助額につきましては、対象経費に係る2分の1で、10万円を限度として予算の範囲内で交付するということになってございます。

続きまして、概要版同じく10ページ、消防施設整備費、消防車両の更新でございますが、ポンプ車2台を予定しております。今現在予定しているのは、第1分団第3部、鍛冶町、日野町、第5分団第2部、三箇上・中・下、この2つのポンプ車の更新を予定しております。

以上です。

○議長（渋井由放） 小原沢まちづくり課長。

○まちづくり課長（小原沢一幸） 概要版11ページ、エネルギー対策事業費につきましては、再生可能エネルギー及び自立分散型のエネルギー普及を促進し、脱炭素社会の実現や災害に強いまちづくりを推進するものとしまして、住宅設備等促進事業補助金600万円、その他郵送料6,000円を計上しているものになります。

補助の具体につきましては、補助対象設備が4種類ございまして、1つ目が太陽光発電設備、こちらは発電出力1キロワットにつき1万円で、上限が4万円としております。2つ目が定置型蓄電池で、蓄電容量1キロワットアワーにつき2万円で、上限が10万円です。3つ目がクリーンエネルギー自動車で、補助額は定額10万円です。4つ目がV2H充放電設備で、補助額は定額10万円となります。

補助対象者につきましては、市に住民登録のある個人が対象で、交付は申請者及び同一世帯の者に対し補助対象設備ごと1回限りとなります。

補助要件については、それぞれ項目ごとに要件が異なっておりますが、未使用の設備であること、リースの設備でないことなどを挙げております。

次に、予算書45ページ、JR烏山線利用促進事業費、976万7,000円の具体的な内容についてお答えいたします。

主な内容については、継続事業のJR烏山線通学定期購入費補助が808万9,000円、利用促進補助が40万円、100周年記念事業が終了することから、関係機関で新たに組織する利用向上委員会の交付金が100万円となっております。その他、消耗品等の事業費9万円、郵送料等の役務費18万8,000円、合計が976万7,000円となっております。

以上になります。

○議長（渋井由放） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） それでは、高木議員から御質問いただきました予算書47ページ、定住促進対策費の住宅リフォーム助成事業費、601万1,000円についてお答えをいたします。

住宅リフォーム助成事業につきましては、築5年以上を経過した持家を市内の事業者にもリフォーム工事をお願いした際の工事費、全体工事費の10%以内、最大で10万円を補助するものでございます。令和6年度は60件を想定しておりまして、10万円掛ける60ということで600万円、そのほかに交付決定等の通知発送用の通信運搬費を1万7,000円見込みまして、トータルで601万7,000円でございます。

次に、予算書79ページ、大桶運動公園施設整備費、5,582万5,000円の管理棟の改修の具体的な内容についてお答えをいたします。

財源としましては、社会資本整備総合交付金を活用いたします。施設の長寿命化を図ることを目的として、まず、屋根の雨漏り対策のため、屋根の修繕、トイレ利用者の利便性向上のためのトイレスペースの拡張を行いまして、ユニバーサルデザインに配慮したものに變更いたします。洋式トイレの数を増やし、多目的トイレを設置いたします。また、赤ちゃんの授乳等ができるスペースも新設することで予定しております。また、現在使用されていない、1階中央にありますらせん階段、これを撤去しまして、ロビーの有効活用ができるようにしてまいります。

次に、同じく予算書79ページ、清水川せせらぎ公園整備費、990万円についてお答えをいたします。

清水川せせらぎ公園整備については、昨年11月の議員全員協議会におきまして、市民からの意見等を踏まえたコンセプトを報告させていただきました。それに基づいて、ユニバーサルデザインに配慮した、日常生活にちょうどいいまちな公園整備に向けて業務を委託する費用でございます。設計に当たりましては、公園利用者とのワークショップを開催するなど、幅広い年代の方から御意見をいただき、癒やしのある安らぎ拠点として皆様から愛される公園整備に向けて進めてまいりたいと思っております。

次に、81ページ、防災集団移転促進事業費、1億5,205万9,000円についてお答えをいたします。

この予算のうち、旧境小学校の校舎、プール、体育館など、全ての建物を解体し更地とする工事費に1億4,080万円を計上いたしております。そのほかに、宮原地区の移転候補地の物件補償、こちらを算定するための委託料1,100万円、そのほかに国との打合せに出向くための旅費、こちらを計上いたしました。合計が、申し上げましたとおり1億5,205万9,000円でございます。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 私のほうからは3つの事業について御説明申し上げます。

まず、予算書69ページ、園芸振興事業費の750万円でございます。こちらにつきましては、米、麦、大豆、そばを中心としました土地利用型農業からの脱却、または稼げる農業に向けた園芸作物の振興ということで、パイプハウス、梨、リンゴ等の果樹棚の整備に対して補助事業を行うものでございます。

その設置費用の5割、上限150万円を補助上限としてございます。年間で5名の新規栽培者、規模拡大者を確保したいと考えておりまして、事業費150万円の5名ということで、750万円を想定した補助事業となっております。

補助対象期間につきましては、令和5年度から令和9年度ということで5年間になってございます。

また、那須南農業協同組合の4割補助とタイアップしてございますので、パイプハウス設置の際は本人負担1割で設置ができる事業となっております。

続きまして、新規就農総合支援事業費の530万円でございます。こちらにつきましては、新規就農者、49歳以下が対象となりますけれども、その新規就農者の就農前、就農後の安定経営、施設の整備、親元就農等を支援する事業となっております。

まず、負担金の10万円につきましては、令和4年4月に発足しました、農業協同組合に事務局があります南那須地域新規就農者支援対策協議会の負担金の10万円、さらに、補助金の520万円につきましては、国の補助金制度を利用しました、3名に対する経営開始資金、さらには市の単独予算で予算措置しています、農業施設の整備に対する補助金50万円、親元就農の祝い金ということで20万円を措置した補助金520万円、計530万円となっております。国の経営開始資金につきましては、1年で150万円の経営開始資金が受けられるという内容で、最長3年間になってございます。

続きまして、3つ目の農業基盤整備促進事業費、1,134万6,000円でございます。こちらにつきましては、現在、下川井地区の補助整備事業が計画されてございます。県営農地整備事業計画に関わる基礎資料及び作成業務、また、基盤整備予定地内の調査設計費用ということで、まず、業務委託料、換地等の整備に対して、これは那須烏山市が事業実施主体になりますけれども、業務委託料として392万1,000円を計上してございます。また、負担金としまして、これは下川井地区の補助整備予定地区内の換地設計等でございます。こちらは県が主体となるところでございますけれども、総事業費3,300万円に対して、市の負担金22.5%に当たる742万5,000円を計上してございます。合わせて1,134万

6,000円というところでございます。

この補助整備、順調に推移すれば、令和6年度に事業費及び整備効果の算定をしまして、来年度には計画の自立、令和8年度からは本格的な整備工事に着手という予定にはなっております。しかしながら、今現在、下川井地区の土地改良推進会において、担い手の確保、または高収益作物の導入に向けた検討、または参加同意率の向上に対して推進を図っております。なかなかちょっと厳しい数字も出ておりますけれども、今後、推進委員会を何度も開催しまして、今後の事業の推進の方向性、現状のままでいくのか、規模をちょっと縮小するのかというところも含めた検討を図りながら令和6年度実施したいと考えてございますので、御理解いただければと思います。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 1番高木洋一議員。

○1番（高木洋一） ありがとうございます。

それでは、幾つか再質問させていただきます。

まず、最初なんですけれども、消防団活動費なんですけれども、こちらは2分の1で10万円限度とあるんですが、これは1人1回とか、そういった制限、もしくは分団とか、部単位とか、そういったのがあるのかお伺いいたします。

あと、消防施設整備費につきまして、今回2台の更新があるということなんですけれども、今後も更新の予定は続くと思いますけれども、今、消防団で所有している消防車両は何台あって、あと、一般的何年で更新されるのかお伺いいたします。

続きまして、農業基盤整備促進事業費につきまして、1,134万6,000円今回計上したんですけれども、令和5年度につきましても692万円について補正でマイナスしているんですけれども、今回かなりの予算がついたので、質問させていただきました。この金額も、今年度、来年度中に執行できるのかも含めて、どこも担い手不足だと思いますので、そこもお伺いしたいと思います。

続きまして、最後の防災集団移転促進事業費なんですけれども、昨日も防災集団移転促進事業の件でお伺いしましたが、解体費用で1億4,000万円ほど計上されるんですが、補助金が、委託料のほうしか出ていないんですが、そうすると、全部持ち出しになるということではよろしいでしょうか。また、ほかの解体等がありましたら、同じような形で全部持ち出しになるのかも含めてお伺いいたします。

以上です。

○議長（渋井由放） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） まず、消防団活動費の免許の助成でございますが、今のところ予

定しているのは、各分団から1名程度で、8部ありますので、10万円の8倍、80万円を予定しております。

また、1回かということですが、それぞれの分団長からの推薦を受けて対応していきますので、基本的には1人1回を限度に対応したいと考えてございます。

それと、消防車両でございますが、本部の指令車も含めて現在41台ほどございます。今後、統合になりますので、少し車両は減りますが、現段階では41台ほどございます。

また、更新の時期でございますが、おおむね23年を目安に更新を予定して計画してございますが、統合等が見据えた場合は、統合優先ということで、車両の更新を見合わせていますので、かなり年数がいつている車両も現在まだあるということでございます。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 農業基盤整備促進事業費でございますけれども、令和4年度から地形図の作成、令和5年度については地権者の調査と実施でございます。令和6年度におきましては換地調整業務、予定地区内の換地調査、設計ということで、国費55%入ってございますので、1,134万6,000円という金額になりますけれども、こちらの執行については、現在、地元のほうで同意であるとか、担い手の確保、高収益作物の導入に向けた検討を随時推進会議で行ってございます。この全部を使い切れればいいんですけれども、場合によっては、規模縮小とか、そういう方向性も見えてきますので、御了解いただければと思います。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） 防災集団移転促進事業に係ります旧境小学校の解体工事費でございますが、こちらにつきましては全額、市の一般財源からの対応となります。ちょっと補助対象にはならないということで御理解をお願いいたします。

その他の解体、個人の建物の解体につきましては、補償費を算定しまして、補償費を支払い、個人が解体ということになりますので、市の負担はございません。

○議長（渋井由放） 菊池総合政策課長。

○総合政策課長（菊池義夫） 財源の話ですが、市有施設の整備基金を1億円充てておりますので、御了解いただきたいと思います。

○議長（渋井由放） 1番高木洋一議員。

○1番（高木洋一） ありがとうございました。

以上で質問を終わります。

○議長（渋井由放） 次に質問はございますか。

2番福田長弘議員。

○2番（福田長弘） おはようございます。よろしくお願いいたします。私も通告書に基づきまして、質問のほうを進めさせていただきます。

高木議員と委員会が一緒なので、大分かぶるところがございますが、よろしくお願いいたします。

まず、通告書に基づき、概要版8ページ、中小企業振興対策事業費でございます。先ほど高木議員のほうからもありました。大体理解をさせていただきましたが、もうちょっと詳しく教えていただきたいことがありまして、御質問させていただきます。6つの補助、新規の経営のほうの400万円がありました。こちら、対象件数、また、上限等あればお教えいただければと思います。

概要版8ページ、新規就農総合支援事業費、こちらのほうは理解させていただきました。ありがとうございます。

続きまして、概要版9ページ、観光振興費でございます。こちらのほうも具体的な数字等もお示しいたきましたので、分かりました。ありがとうございました。

続きまして、概要版10ページ、交通安全対策費・交通安全施設整備費、こちらは新しいカーブミラー等の設置等々が入ってくるかと思いますが、予定数についてお伺いをいたします。

続きまして、概要版10ページ、防犯対策費・防犯施設維持管理費、こちらの新たな防犯灯の設置予定についてお伺いをいたします。

続きまして、概要版12ページ、総合戦略推進事業費でございます。企業版ふるさと納税財源確保経費でございます。この題目に費用対効果が図れるということでございますが、どのような効果が期待できるのかということをお伺いいたします。

概要版14ページ、多面的機能支払交付金事業費でございます。こちらは農地保全活動団体への助成とございますけれども、団体というのは、どのような活動を行う団体にどのぐらいの、何件に対して助成をする予定なのかお伺いいたします。

続きまして、予算書44ページ、地域交通対策費でございます。地域公共交通計画策定事業費65万7,000円の具体的な内容についてお伺いをいたします。

よろしくお願いいたします。

○議長（渋井由放） 星商工観光課長。

○商工観光課長（星 貴浩） それでは、概要版8ページの中小企業振興対策事業費、その中での経営課題解決事業費補助金につきまして少し詳しく御説明させていただきます。

先ほど御質問ありました、まず、条件というところでございます。市内の事業所で1年以上事業を営んでいる中小事業者、こちらを対象にするわけなんです、さらにその中で、令和

6年度は商工会に個別支援会というのを開催していただきたいと思います。那須烏山商工会の実施する個別支援会に参加いただき、その中で商工会と一緒にその事業者の経営課題の洗い出し、あるいはその経営課題を解決するための事業計画を策定、そして、その事業計画を実際に実行するための経費として補助するものでございます。こちらは1件当たり20万円、それで、事業所20件の補助を考えてございます。それで400万円という計算をさせていただきました。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 概要版10ページ、交通安全対策費・交通安全施設整備費の新たなカーブミラーの設置予定数でございますが、現在4基ほど見込んでございます。そのほかに反射鏡等の修繕も4基ほど見込んでおります。

また、同じく防犯対策費・防犯施設維持管理費の新たな防犯灯の設置予定数でございますが、現段階では新規としては10基ほど見込んでございます。そのほかに防犯灯の修繕として75基ほどの修繕も見込んでいるところでございます。

以上であります。

○議長（渋井由放） 菊池総合政策課長。

○総合政策課長（菊池義夫） 概要版12ページ、総合戦略推進事業費についてお答えいたします。

どのような効果が期待できるかという御質問でございます。本事業は業務委託として行いますが、寄附を検討しております企業に、本市の地域創生事業のPR、いわゆる第3次総合計画に掲げます重点戦略に当たりますが、これらのPRを実施し、本市への寄附を獲得するものでございます。完全成果報酬という形で実施いたしますが、寄附が発生した場合のみ委託料を支払う仕組みでございます。歳出を抑えられ、効果的に財源の確保ができるものと考えております。また、寄附をいただいた企業との継続的な関係を構築し、今後の市政への協力・支援等を獲得できれば、さらなる効果につながるものと考えております。

○議長（渋井由放） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 私のほうから概要版14ページ、多面的機能支払交付金事業費、2,105万8,000円について御説明申し上げます。

こちらにつきましては、自治会等を単位とします地域保全会の組織によります、田んぼ・畑の農地、農道、水路等の農地維持活動、保全活動、さらには生き物調査、花卉植栽等の資源向上活動を行うための補助金でございます。現在、活動している組織が11組織ございます。農地維持活動に11組織、その11組織の中で資源向上活動、ダブっていますけれども、4組織

ございます。全部で15組織ですけれども、11組織が活動というところで、維持活動費には、水田については10アール当たり3,000円、畑については10アール当たり2,000円、資源向上対策活動費については、水田で10アール当たり1,800円、畑について10アール当たり1,080円が交付される事業になってございます。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 小原沢まちづくり課長。

○まちづくり課長（小原沢一幸） 予算書44ページ、地域交通対策費、地域公共交通計画策定事業費、65万7,000円の具体的な内容についてお答えします。

現行の地域公共交通計画の計画期間が令和7年度で終了することから、次期計画策定に向け、市民ニーズ等を把握するためのアンケート調査を実施する経費であります。封筒やラベル用紙等の消耗品で13万9,000円、アンケートの発送・返信の通信運搬費で51万8,000円を計上しております。

以上です。

○議長（渋井由放） 2番福田長弘議員。

○2番（福田長弘） 御説明ありがとうございました。

中小企業振興対策事業費、細かく御説明ありがとうございました。20件が多いのか少ないのか、20万円が多いのか少ないのか、そこら辺は微妙なところでありますけれども、ぜひ市内の事業者に対する支援として使っていただければと思います。

続きまして、交通安全対策費・施設整備費、防犯対策費・防犯施設維持管理費でございます。こちらの数と修繕の数をお知らせいただきました。こちらでは、すいません、再質問なんですけれども、どのような基準で新規を設置する予定、これは要望とかによってということでしょうか、御確認したいと思います。

総合戦略推進事業費でございます。基本的にPRという形で使われるということでございます。こちらは、結果が出なければ、払わなくてもいい形かなと思うんですけれども、ある程度高い期待をこっちも望んでいるんですけれども、ぜひそちらも具体的にしっかり進めていただければと思います。

多面的機能支払交付金事業費についてでございます。こちらのほうも理解させていただきました。大体こちらのほう分かりました。ありがとうございます。

地域交通対策費でございます。具体的にこれからのアンケートをどんどん入れるということでございます。アンケートを受けて、その後の、アンケート調査後の実行というか、形になったらどのような進め方をするのかちょっとお聞きをしたいと思います。

よろしくお願いします。

○議長（渋井由放） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 防犯灯の設置、どんなときに設置するのかというところですが、基本的に行政区長、自治会長から依頼があったときに、それを立てることに支障がないかどうかは確認させていただきますが、基本的には地元からの、自治会からの要望で対応しております。

以上です。

○議長（渋井由放） 小原沢まちづくり課長。

○まちづくり課長（小原沢一幸） 調査後の予定なんですけれども、令和6年度中にアンケート調査集計を行う予定であります。令和7年度に分析と計画策定に着手する予定となっております。

以上です。

○議長（渋井由放） 2番福田長弘議員。

○2番（福田長弘） 御説明ありがとうございました。

以上で私の質問は終了します。

○議長（渋井由放） 次に質疑はございませんか。

3番荒井浩二議員。

○3番（荒井浩二） 私も通告書に従いまして、あと、通告外の質問が最後1個あるんですが、そちらで質問させていただきます。おおむね概要書からとなります。

まず、概要書4ページ、児童福祉事業費です。私立保育施設等の使用済紙おむつ処理費用の助成とあるんですけれども、こちらは期限があるのか、今後も継続して行っていくのか、他市町でも同様に、市立ではなく私立保育施設への補助があるのか伺います。また、プラス68万円の支援の内容もお伺いいたします。

また、同じく概要書4ページ、若者交流事業費、とちぎ結婚支援センター登録費の助成であります。見込み人数及び39歳以下全額補助としたことと、年齢を39歳以下に制限した理由についてお伺いいたします。また、今までの助成利用人数と利用者の経過追跡等の内容について個人情報保護の範囲内でお伺いいたします。

次に、同じく概要書5ページ、学校給食センター運営費（再掲）について、米粉パンなどの米消費増やアレルギーを考慮したパンの購入も予定しているのか教えてください。

次に、概要書6ページ、烏山図書館・南那須図書館運営費、図書館の統合に対してアンケート調査を行うという答弁が昨年あったと記憶しているんですけれども、その内容や今後の統廃合等の計画についてお伺いいたします。また、学校教育との連携や電子図書館を活用した取組で進んだものがあれば教えてください。

次に、6ページ、芸術文化活動事業費、助成見込み、予定のものに関して主催者やイベント内容、時期等についてお伺いいたします。

次が9ページ、学生応援事業費、こちらも人気の事業ですけれども、市外学生にふるさとの野菜等を送付する事業であります。対象はどのように抽出・選定されるのか、また、学生とありますが、既に就労するなどして、ふるさとを離れて市外で活躍する本市出身者を応援し、地元への愛郷心を醸成すべく、遠方からのふるさと納税等の支援や将来的なUターンを見越して、対象を20歳程度まで拡充してはいかがかお伺いいたします。

次に、概要書10ページ、防犯対策費・防犯施設維持管理費、こちらも先ほど福田議員から質問がありましたが、違う角度から質問させていただきます。こちらの防犯灯の維持管理に関して、私のほうで一般質問で申し上げさせていただいた、電気料金の自治体負担を要望させていただきました。その後の進捗と予定についてお伺いいたします。

次の10ページの消防団活動費ですが、こちらのほう、私と興野議員が以前一般質問で質問させていただいたところ、早速こちらを予算のほうに繰り入れていただいて、ありがとうございます。こちらの質問は省略させていただきます。

次のエネルギー対策事業費も高木議員から質問がありましたので、省略させていただきます。

次に、概要書12ページ、ホームページ管理運営費です。こちらは予算質疑ではあるんですけれども、去年の総括質疑でチャットボットの導入など予定や計画を伺いました。去年の本市ホームページ運営の進捗状況についてお伺いいたします。

また、こちらに関連して、現在「那須烏山市DX推進計画（原案）令和6年度～10年度」が公開されて、パブリックコメントを募っているところであります。来年度までにホームページの改善・機能追加を含め、本市デジタル・トランスフォーメーション計画はどこまで進み、何がどのように変わっていくのか、具体的な計画について伺います。

次に、概要書14ページ、運転免許証自主返納者支援事業費、こちらの予算上の想定者数、返納者数の推移についてお伺いいたします。また、タクシー券の使用期限と利用率について教えてください。

併せて、返納者への支援として、ほかにバスやデマンドの利用券、市内の商工業者で使えるような市商品券を合わせる、もしくは選択していただいたり、運転免許経歴証明書発行経費の助成を加えてはいかがかお伺いいたします。

次に、概要書15ページ、自主財源比率、本市の自主財源比率は、令和3年度29.5%、令和4年度33.2%と県内市で最低を記録し続けております。令和5年度当初予算では33.2%、令和6年度当初予算においては33.9%となっています。これらの数字が微増となっている要因について伺います。

また、最下位からの脱却を図るためにも抜本的な改善が必要とされますが、そこへ向かう覚悟と対話と責任による本年度当初予算に対する決断についても併せてお伺いいたします。

また、通告外の質問になってしまうんですけれども、このたび議会や庁内でペーパーレス化を進めております。配布される文書等をデジタル化する際に、デジタルデータとしての様式が定まっていないために、電子文書として機能しないものがあります。例えば、こちらのいただいた予算書、デジタルデータでもいただいているんですけれども、文字検索ができないなど、ちょっとした不具合がある部分があります。そういった文書の電子化に当たって、庁内で一定のルールを設けて本市のペーパーレス化を推進していただきたいのですが、いかがでしょうか。お願いします。

○議長（渋井由放） 水上こども課長。

○こども課長（水上和明） それでは、私のほうから概要書4ページ、児童福祉事業費のうち、使用済おむつ処理費、また、同4ページ、若者交流事業費のうち、とちぎ結婚支援センター登録費の助成の拡充ということでお答えいたします。

まず、児童福祉事業費のほうから御説明申し上げます。

本事業の期限、また、今後も継続するののかとのことでございますが、助成期間としましては、現時点で令和5年度から令和7年度までの3年間を予定しております。その後の継続につきましては、今後必要に応じて検討してまいりたいと考えております。

次に、他市町の状況ですが、令和5年10月の段階でございますが、6市4町が実施、または6年4月からの実施予定となっております。

次に、補助の内容ですが、市内の認可施設8施設を対象としまして、入園しているゼロ歳から2歳児、年間延べ1,942人に対し1人当たり350円を助成するものでございます。

続きまして、若者交流事業費の説明をいたします。

まずは助成の見込み人数ですが、39歳以下は10名、それ以外は5名を見込んでおります。

次に、39歳以下を全額補助としたこと、また、年齢を39歳以下に制限した理由でございますが、令和3年度からこの助成事業は実施しておりますが、6年度はとちぎ結婚支援センターを最大限に、今まで以上に活用していただくために、補助を手厚くし、登録料全額を補助するものでございます。39歳以下を手厚くした理由につきましては、年齢を差別化することで若い世代に結婚を意識してもらい、加入の促進を図り、結婚を後押しするためでございます。

次に、今までの助成利用人数と経過内容でございますが、令和3年度は4名、令和4年度は3名、令和5年度は現在までに4名の申請がございました。特に個人ごとの追跡は行っておりませんが、成婚した人数としましては、令和3年度1名、令和4年度4名となっております。

以上です。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） 学校教育課関連です。

概要版5ページ、学校給食センター運営費に関して御質問いただきました。米粉パンなどの米消費増やアレルギーを考慮したパンの購入も予定しているのか教えていただきたいという御質問ですが、通常提供しておりますパンですけれども、これと比較した場合、米粉のパンが、単価が非常に高いです。食材高騰が続く中でありまして、給食での提供は現在は控えております。

次に、アレルギーを考慮したパンですけれども、小麦粉アレルギーのある児童・生徒に対しては指導給食扱いとなりますので、保護者にメニューを確認していただき、食べないようにしてもらっております。その代わりに保護者が購入した米粉パンやアレルギーを考慮したパンを持参させるという対応をさせていただいております。したがって、学校給食としてアレルギーを考慮したパンの購入はしておりません。

以上です。

○議長（渋井由放） 黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美） 生涯学習課関係についてお答えします。

予算概要の6ページ、烏山図書館・南那須図書館運営費につきましては、両図書館の運営を指定管理に委託する費用になりますが、統合に対してアンケート調査を行うことと今後の統廃合等の計画についてですが、アンケートにつきましては、生涯学習に関するアンケート調査として、生涯学習推進計画策定に反映するために、広く文化振興、生涯学習施策についての意見や情報を集めることとして実施しまして、統合について絞らず実施しております。

今後の統廃合等の計画につきましては、令和6年度に着手します生涯学習施設個別施設計画策定で、劣化状況等の現状や課題、維持管理費用シミュレーションなどの情報を把握し、図書館を含めた生涯学習施設全体の在り方を含め、方針を整理していく予定としております。

図書館の学校教育との連携では、子供たちの読書環境の向上のために電子図書館の登録を支援しており、各学校の協力の下、昨年度は1校、江川小学校、今年度は小中学校4校、七合小学校、南那須中学校、烏山小学校、荒川小学校の児童・生徒の登録が済みました。令和6年度には残る2校、烏山中学校、境小学校についても進める予定としております。電子図書館を利用することで児童が一斉に同じ本を読むことが可能になり、読書活動の際に活用できるという事例がございます。

続きまして、同じ6ページの芸術文化活動事業費につきましては、文化振興を図るために、市文化協会補助、文化祭交付金、学校移動音楽鑑賞教室負担などにより活動を支援するものになっております。移動音楽教室につきましては44万6,000円、南那須地区音楽祭に4万円、

市文化協会補助金として20万円、市文化祭補助金として35万円、山あげ俳句全国大会実行委員会へ10万円の補助が内容となっております。

以上です。

○議長（渋井由放） 小原沢まちづくり課長。

○まちづくり課長（小原沢一幸） 概要書9ページ、学生応援事業費についてお答えいたします。

まず、どのように抽出・選定されているかというところなんですけれども、抽出については特に行っておりません。市が事業の周知を行いまして、申込みのあった方に特産品等を贈る支援をしておるところです。

次に、就労者等への支援拡大についてということで、地元への愛郷心の醸成やふるさと納税等の支援、また、将来的なUターンを見越した視点というのは非常に重要な視点だと思っております。先日の青木議員からの一般質問にもありましたように、学生なんかはそれぞれSNSで情報を拡散していただくような御提案も受けておりますので、今後の事業の参考とさせていただきます。

以上です。

○議長（渋井由放） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 概要版10ページ、防犯対策費・防犯施設維持管理費、前回受けた要望に対して、その進捗と予定でございますが、防犯灯の自治体負担につきましては、現在も他市町の状況把握に努めています。今後調査研究をさせていただきたいと思っております。

なお、自治会連合会としても、自治会存続のための課題の洗い出しを行っておることから、新年度に向けては自治会連合会と連携しながら、どのような支援が一番いいのか、そういったところを含めて検討させていただきたいと思っております。

続きまして、概要版15ページ、運転免許証自主返納者支援事業費でございます。

運転免許証については、予算上の見込みは45名を見ております。それから、返納者の推移でございますが、令和3年度は82名、令和4年度は84名、令和5年度は、2月末現在でございますが、66名でございます。

使用期限は発行日から2年間利用が可能です。利用率を出すのが、2年間ということなので、非常に難しいことから、利用実績としてお答えしたいと思っております。令和2年は66万1,500円、令和3年は64万7,000円、令和4年度は68万5,000円の利用実績となっております。

なお、タクシー券とかバス利用券も選択できることに今現在なっております。

なお、デマンド交通、商品券、また、運転経歴証明書発行経費の助成については、今後検討

させていただきたいと思います。

以上です。

○議長（渋井由放） 菊池総合政策課長。

○総合政策課長（菊池義夫） 概要版の12ページ、ホームページ管理運営費についてお答えいたします。

チャットボットの導入につきましては、今年度AIシナリオ型、さらにAIのシナリオ型併用型の検討を行っております。令和6年度に試験運用をして、令和7年度の予算化に向けて検討している状況でございます。

それから、ホームページの状況でございますが、昨日の一般質問の中でも若干触れさせていただいたとは思いますが、ホームページは市長の部屋に公聴箱を設置して、年間80件以上の御意見、御要望なんかは受けております。そういったことも状況としてございます。

さらに、私もちょっとホームページのアクセス数なんかも調べてみました。令和3年度なんかは、セッション、いわゆる日本、アメリカ、各国からアクセスしている件数が57万6,000件、令和4年が60万件を超えています。それだけアクセスが多いということがうかがえました。それから、ページビューというのも、ホームページを何ページ見たかという部分も調べてみますと、やはり170万を超えている件数がアクセスされているという状況もうかがえました。

次に、DXの関係、DXにつきましては、市民向けサービスとしまして、来年度窓口での申請等への住所等の記入の負担軽減や来庁者の目的に応じた適切な案内など、市民の利便性の向上を図ることを目的として、書かない窓口を実現するシステム導入を予定しております。また、各種申請手続についてオンライン化の拡充も予定しております。行政内部ではデジタル技術を活用した業務の変革を担うことができる人材の育成を進めることとしておりますので、よろしくお願いします。

次に、自主財源比率の件でございます。自主財源比率が微増した主な要因としましては、基金繰入額が令和5年度と比較して1億7,408万円増加したためでございます。自主財源比率が低いことについては、議員御指摘のとおり、当然自主財源を確保する努力が必要でございます。自主財源は地方公共団体が自主的に収入し得る財源として、市税、それから、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入が該当いたします。まず、この財源を増やすこと、それと同時に歳出予算を削減することが必要だと考えております。

具体的には、市民税や固定資産税の新規課税の増加や徴収の強化、使用料及び手数料の見直し、ふるさと納税の推進等、財源の確保に努めて、公共施設の更新、統廃合、長寿命化による

財政負担の軽減、事業のスクラップなどを行って歳出予算の削減に努めてまいりたいと考えておりますので、御理解いただきたいと思います。

さらに追加の御質問で、予算データの不具合でございます、予算書ですね。これらについては、私どもまだ始まったばかりですから、よく財政サイドでも調整し、庁内調整をした上で、ペーパーレス化の推進を図ってまいりたいと思いますので、御理解いただきたいと思います。

○議長（渋井由放） 3番荒井浩二議員。

○3番（荒井浩二） 一通り答弁いただきました。おおむね理解しましたが、再質問というか、要望させていただきたい点が幾つかございます。

まず、学校給食センター運営費、今、指導給食ということで、アレルギーに関しては保護者の方が持って来ていただいているものを子供が食べているということで、米粉パン、単価が高いということがあるかもしれないですけども、やっぱりアレルギーの子はそれなりに、食べ物だけじゃなくて、環境から、友達の見線とか、そういったところからもいろいろ苦労しているところがあるのかなと私は感じるので、ぜひとも子供たちが一緒に食べられるような、パンと一緒に食べられるんだみたいな、そういった経験をさせてあげたいので、米粉パン、ちょっと食料費とか、給食費が増えている中、難しいのかもしれないんですけども、検討してみてください。

それと、その前の若者交流事業費、こちら、私は今年41歳になるんですけども、予算が全部消化できていないのであれば、全年齢対象にして、もっと幅広い方に結婚への意識づけをしていただければいいんじゃないのかなと思います。そこに関してちょっと要望として言わせていただきます。

それと、6ページ、芸術文化活動事業費、こちらは学校移動音楽教室というものをやっているということで、そちらへの支援があるということで、子供の頃に私も見たことがあるんですけども、すごく感動した記憶があります。これは今全校で行っているわけではないということでもよろしいでしょうか。できれば、すごくいい機会なので、業者さんの都合とか、いろいろあるかもしれないですけども、全校で、もしくは子供たちが、うちはホールがないので、難しいかもしれないですけども、子供たちが集まって、ほかの学校と共同して見るような機会があってもいいんじゃないのかなと思います。

それと、学生応援事業費のほうなんですけど、こちらもうっぱり、私も支援を与えた方に対して情報拡散をお願いするということも以前要望したことがあります。何かを与える、ただあげるという言い方はおかしいのかもしれないですけども、それは簡単なんですけども、相手に対しても何かしらのリターンをいただければ、お互いにとっていい体験になるんじゃないのかなと思うので、ぜひとも進めてください。

自主財源の件に関しては、あまり覚悟と対話、ちょっと決断に関してはまだ曖昧な部分があるんですけども、ここはちょっと置いておきます。すいません。

あと、ちょっと戻って、運転免許証自主返納者支援事業費、こちら、運転免許経歴証明書の発行経費を補助しているところが結構あるので、マイナンバーカードがあるんじゃないかという方もいるんですけども、身分証の代わりになるものなので、ぜひともこれを進めていただきたいと思います。

答弁は結構です。よろしくお願いします。

○議長（渋井由放） よろしいですか。

ここで暫時休憩いたします。再開を11時15分といたします。

休憩 午前11時07分

再開 午前11時15分

○議長（渋井由放） 休憩前に引き続き、再開いたします。

質疑はございませんか。

4番堀江清一議員。

○4番（堀江清一） 私は、予算書で全て質問をさせていただきたいと思います。

防災集団移転促進事業費については、高木議員の説明で了解しましたので、割愛をさせていただきます。

予算書85ページ、英語コミュニケーション推進事業費、2,854万3,000円、この内容をよろしくお願いします。

それと同じページ、85ページなんですが、中学生海外派遣事業費、生徒何人を想定して、今まではメノモニー市ということでありましたが、今後はどこの国を考えておるのか、お願いをいたします。

それと、予算書89ページ、烏山中学校教育振興費、同じく89ページ、南那須中学校教育振興費の両内容について。

それと、予算書91ページ、生涯学習施設整備計画策定事業費ということですが、詳しく内容をお伺いします。

予算書91ページ、長者ヶ平官衙遺跡保存管理費、109万7,000円ということですが、どんな内容なのかをお伺いをいたします。

それと、予算書93ページ、向田体育館管理費、ほかの体育館と予算がちょっと違うので、その辺の相違点についてお伺いします。

最後に、予算書95ページ、緑地運動公園管理費、その管理の中身、内容をお伺いいたしま

す。

よろしくお願いします。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） 学校教育課関連4点御質問いただきましたので、お答えをさせていただきます。

予算書85ページ、英語コミュニケーション推進事業費についての内容ですけれども、本市において英語を使った活動を通じて、広い視野と豊かなコミュニケーション能力の育成、意欲と創造力豊かな人材の育成を行うため、各小中学校にALTを1名ずつ配置する予算でございます。ALTの派遣会社と令和4年から3年間の委託契約をしております、予算のほとんどが委託料ということになります。

続きまして、同じく85ページ、中学生海外派遣事業費、派遣生徒数とどこの国を考えているかということですが、中学生を10名予定しております。派遣先ですが、今まだ検討しているんですが、アメリカもしくはオーストラリアを考えております。

続きまして、89ページから烏山中学校教育振興費と南那須中学校教育振興費、こちらの内容につきましては同じになりますので、併せてお答えをさせていただきたいと思います。

こちらの教育振興費につきましては、学校行事や校外学習に係る消耗品や備品購入、そういったもの、そのほかに要保護、準要保護の就学援助の費用をこちらから支出しております。

学校教育課関連は以上となります。

○議長（渋井由放） 黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美） 生涯学習課関係の予算につきましてお答えします。

まず、予算書91ページ、生涯学習施設整備計画策定事業費につきましては、生涯学習施設管理に関する更新、統廃合、長寿命化に関する基本的な指針となる計画として、那須烏山市公共施設等総合管理計画を踏まえて策定してまいります。策定により施設の計画的な維持管理を行い、市民によりよい活動環境を提供できるものと考えております。

予定としましては、事業は2年間で、令和6年度は施設の劣化度調査、利用状況や維持管理費用等の情報把握を行い、予防保全型維持管理を基本とする施設の長寿命化や利用困難と判断される施設の集約、廃止等の方向性を検討、2年目は施設ごとの更新費用等シミュレーション、ロードマップの作成等を行いたいと考えております。

続きまして、予算書91ページ、同じページの長者ヶ平官衙遺跡保存管理費、こちらにつきましては、国指定史跡長者ヶ平官衙遺跡附東山道跡の保存管理及び周知のための事業費となっております。主なものは、環境整備の草刈り等が歳出の主なものになりまして、令和6年度は、遺跡周辺の環境整備のうち、竹の伐採、それと、伐採済みの竹も含めて竹の粉碎処理を行う費

用78万7,000円が主な増額の理由となっております。

続いて、予算書93ページ、向田体育館管理費につきましては、ほかの体育館との相違点というところなんですけれども、今回大きく違っているのは、備品購入費、卓球台3台94万1,000円、こちらが増えておりますので、その点が違ってくるかと思います。

続いて、予算書95ページ、緑地運動公園管理費です。こちらも内容についてを伺うということですので、主な内容につきましては、生涯学習課のほうで施設の管理をしている作業員、会計年度任用職員2名に係る人件費、合計額で666万円、こちらがこの管理費に計上されるところで増えております。そのほかは、施設の維持管理に要する経費として、合計で976万9,000円、主なものとしては、需用費のほう、光熱水費が420万3,000円、修繕料、トラック等の車検も含めまして65万9,000円、役務費としまして、手数料、トイレ等の清掃手数料になりますが、70万1,000円、委託料として施設管理委託料、主には芝刈り等が主要になりますが、344万3,000円といったところが主な内容になります。

以上です。

○議長（渋井由放） 4番堀江清一議員。

○4番（堀江清一） 再質問を二、三させていただきます。

英語コミュニケーション推進事業費なんですけど、業務委託でしょうけれども、日本語も話せて、しっかりと対話ができるような方を選んでいただくようにしてもらって、とにかく英語教育というのはこれからの世の中非常に重要ですから、強化していただいて、一般質問でもちょっとさせていただきましたが、英会話力を上げる方法を考えると、そういうことをぜひ真剣に、前向きに取り組んでいただければと思います。

それと、烏山中学校と南那須中学校の教育振興費に関しては了解しました。

中学生海外派遣事業費について、アメリカかオーストラリアかと、まだ決まっていないと。昨年もメノモニー市からのやり取りで断念したという無様な結果になってしまったということですから、早々に、海外派遣する先ですか、そこは手落ちのないように、きちっと早いうちに進めていただければと思います。要望です。

それと、生涯学習施設整備計画、生涯学習施設というのは具体的に、もし分かれば、その施設を、あれば、よろしくお願いします。

それと、長者ヶ平官衙遺跡保存管理費については、草刈りだけで109万円は高いなと正直思ったんですが、竹を処分する費用ということがあるということだったので、これは了解しました。

それと、向田体育館管理費、卓球台を購入するということですが、この卓球台を使う方、利用する方というのはどれぐらいおるんでしょうか。

それと、緑地運動公園管理費、トイレとか、いろいろあると思います。以前にトイレのブローカーかなんかの音がちょっと気になるよという話をさせていただきました。正直トイレのあの音というのは異常です。聞いたら、業者が問題ないということではありますが、あそこにトイレが2つありますよね。球場側の後ろは異常です。こちらのもう1か所のほうはそういうことがございませんから、再度その辺も確認していただいて、きちっとした施設にして管理をしていただければと思っています。

よろしくお願いします。

○議長（渋井由放） 黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美） まず、生涯学習施設整備計画関係です。対象となる施設、どこになるのかということなんですが、生涯学習とスポーツの関係の施設になります。対象施設は、合計では24施設を対象としておりまして、スポーツのほうの17か所、公民館などの社会教育施設を7か所、内訳ですが、体育館が4か所、向田、野上、七合、烏山、弓道場が2か所、烏山、南那須、武道館が2か所、烏山と、大金にあります那須烏山市武道館、スポーツ健康館、いきいき交流館、B&Gプール、公民館が5か所、烏山、烏山南、境、七合、南那須、それと図書館が2か所、烏山、南那須、屋外運動施設としまして、大桶運動公園、緑地運動公園、烏山運動公園、烏山野球場、南那須運動場です。

卓球を行う方の人数というところなんですが、申し訳ございません、手持ちの資料がございませんので、確認しましてお知らせしたいと思います。

それと、緑地運動公園、先ほどもありましたトイレの関係、以前御意見いただきまして、音の関係で御心配いただいたところなので、おっしゃるとおり、業者のほうには一度確認しまして、問題がないという回答はいただいておりますが、念のため、再度確認してまいりたいと思います。

以上になります。

○議長（渋井由放） 4番堀江清一議員。

○4番（堀江清一） おおむね了解いたしました。

英語コミュニケーション推進事業についてはぜひ強化をしていただければと思いますので、何か教育長、よろしくお願いします。

○議長（渋井由放） 田代教育長。

○教育長（田代和義） 英語コミュニケーション推進事業につきましては、一昨年まで別の会社で、今新しい会社、ハートコーポレーションに変えましたけれども、今回の改正でよかった点は、はっきり言うと、パキスタン語ができるALTがいた点です。最近パキスタンから移住してきている子供が増えておりまして、パキスタン語も何種類もあって、1人ではちょっと

対応できないという状況もあるんですが、ただ、パキスタンのほうばかり中心に入れるわけにはいきませんので、そういったところで、来年度で今の契約が切れますので、次また契約するときに、会社を呼んで話を聞きますので、そのときに話をしていきたいと考えています。

今は5名、各小学校の数はいるんですが、1名は烏山小学校に置いておいて、2名は荒川小学校と境小学校において、そこに英語専科教員を入れていきます。ALTが日本語をしゃべれなくても、ほとんど英語専科教員とコミュニケーションを取りながら、各学校その3人で手分けして回っていくという形にしていますので、効率はかなり以前よりはよくなったんじゃないかなと。1人でぽつんと、あまり日本語をしゃべれないALTがいると、登校拒否になって辞めちゃったりしたということも何回かあるので、一応そういうのを兼ねてやっていきたいと。議員がおっしゃったような、日本語がぺらぺらであれば、もちろんそれにこしたことはないんですが、そういう方はほとんど別の企業で、残念ながらもっと給料がいいところに行っていますので、極力努力したいと思っています。

それから、中学生海外派遣につきましては、私の教え子なんかオーストラリアにいますので、若干状況等を聞きましたが、ただ、住んでいるのがシドニーじゃなくてケアンズ、大変上のほう、北のほうなので、北は駄目なんですよ、日本人が非常に多いというところで、話を聞きましたが、受け入れる学校があるんだという話をしてくる、学校というか、いわゆる英会話学校、あちらの、短期留学とか何かで行った人が一旦入るようなところで引き受けていますよという話は聞いていますので、そういったものを含めて、業者に頼んでいかないとちょっと今回は難しいだろうと。メノモニー市はもともと姉妹都市が先にあって、その後、派遣事業を受け入れてもらっているという状況でしたので、今度は何もなくてどこにぽつと行かなきゃならないので、やはりちょっと我々教育委員会単独の力では難しいということで、今後またさらに業者選定しながら方向性を決めていきたいと考えております。

余談ですが、さくら市は、今は自前で教育委員会主体でやっていますが、やはり最初は業者に頼んで、数年行って慣れてきたので、教育委員会でするという形になっているという話もありますので、そういった形で進めざるを得ないかなと考えております。

○議長（渋井由放） 4番堀江清一議員。

○4番（堀江清一） ぜひよろしくお願いをしたいと思います。

以上で質問を終わりたいと思います。

○議長（渋井由放） 次に質疑はございませんか。

5番興野一美議員。

○5番（興野一美） それでは、質問いたします。

まず、概要版3ページのエネルギー対策事業費については、同僚議員が質問しましたので、

これは削除します。

次に、概要版10ページ、消防団活動費、免許の取得なんですけれども、今の団員の中で現在の消防自動車に乗れない団員、もし数が分かればお願いします。それと、自動車教習なんですけれども、市内の烏山自動車学校に指定することはできないかについて伺います。

次に、概要版11ページ、JR烏山線利用促進事業費、これのJR烏山線利用向上委員会（仮称）の概要を伺います。

次に、概要版18ページ、特別会計、熊田診療所、診療収入が前年より732万5,000円減の1,916万8,000円なのに対して、医療費が61万6,000円増の1,257万4,000円で、診療収入に対して医療費が多いのはなぜか伺います。

予算書の43ページ、コミュニティ助成事業費、前年より390万円増の890万円の概要を伺います。

予算書63ページの狂犬病等予防事業費、登録件数と接種率を伺います。

予算書85ページ、教育情報ネットワーク整備事業費、今まで相当な金額の整備をしてきましたけれども、今後も整備事業は続くのか伺います。

予算書の115ページ、広島市平和記念式典派遣事業、予算書の85ページには派遣事業140万円と載っているんですけれども、交付金がゼロとなった、この詳細について伺います。

○議長（渋井由放） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 消防自動車が運転できない団員の数は把握しているかということでございますが、申し訳ございません、これについては調査しておりませんので、分かりませんということになります。

また、烏山自動車学校を指定できないかということでございますが、現段階では指定というところは考えてございません。一度検討はさせていただきたいと思います。

以上です。

○議長（渋井由放） 小原沢まちづくり課長。

○まちづくり課長（小原沢一幸） 概要書11ページ、JR烏山線利用促進事業費、JR烏山線利用向上委員会（仮称）の概要について御説明いたします。

令和5年度につきましては100周年記念事業実行委員会を設置しまして、各種記念事業に取り組みました。興野議員にも議会代表として御協力をいただきまして、ありがとうございました。これらの取組を一過性で終わらせることなく、継続的な展開を図っていきたいと考えておることから、利用向上の委員会を設置しまして、効果的な事業実施を進めていきたいと考えております。

具体的には、市民の皆様が烏山線を自分たちの大切な路線として利用いただけるためのマイ

レール運動の実施や、今年3月にACCUM導入が10周年を迎えることから、秋口に駅前で
の記念事業などを検討していきたいと考えております。

なお、委員会のメンバーには、行政機関のほか、JR、商工団体、観光団体、教育機関、そ
して、議会代表の方にも御参画いただければと考えております。

次に、予算書の43ページ、コミュニティ助成事業費の概要について説明いたします。

こちらは、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業としまして、コミュ
ニティ活動に必要な備品や集会施設の整備等に対して助成をするものであります。前年の9月
に申請を受け付けし、予算計上しております。

備品が対象となる一般コミュニティ助成事業は、1団体250万円が上限で、令和6年度に
つきましては、小倉、大桶中、日野町、森田宿の4自治会から祭礼用の太鼓やエアコン整備等
に合計890万円の申請があったところです。

次に、予算書63ページ、狂犬病等予防事業費、登録件数と接種率につきましては、令和
6年2月末現在1,221件の登録で、狂犬病予防注射接種率は61.6%となります。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 大谷市民課長。

○市民課長（大谷啓夫） 熊田診療所につきまして、診療収入に対して医療費が多いのはな
ぜかという御質問なんです。熊田診療所のほう、議員おっしゃるとおり、診療収入についま
しては昨年度比マイナス27.65%、医療費につきましてはプラス5.11%となっております。
熊田診療所につきましては、運営体制を変更し、来年度より那須南病院からの医師派遣
ということで予定してございまして、診療日数も減となります。それに合わせて、今現在受託
しております老健施設等の嘱託医報酬、こちらが約400万円程度ありますが、そちらのほう
が減額になります。それから、医療費につきましては、熊田診療所のほうは院内処方ござい
まして、使用する医薬品などが、ちょっと減額することが難しいというところと、あと、新た
にオンライン資格確認用の機器、それから、心電計の機器のほう新たに購入したため、保守委
託料等が発生することになってございますので、若干の増額ということになってございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） 予算書85ページ、教育情報ネットワーク整備事業費、この
整備事業は今後も続くのかということですが、この事業で大きく占める費用ですけれども、学
校教育ネットワークサーバー機器のリース料と保守料に係る経費です。契約期間はそれぞれ令
和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間、それと、先生方が学校で使用してお
ります校務用のパソコンのリース料に係る経費です。こちらの契約期間が令和5年2月1日か

ら令和10年1月31日までの5年間です。ですので、続くのかどうかということであれば、この整備事業は令和11年3月31日までは続く予定でございます。

それと、予算書115ページ、広島平和記念式典派遣事業費交付金、交付金がゼロになった詳細についてということですが、こちらの事業を実施する際は、令和5年度までは広島平和記念式典派遣事業事務局に対して交付金を交付しまして、そこから委託する旅行会社に委託料を支払っておりました。現在は事務局からの支出が委託料しかないため、事務局を通す必要がなくなったため、令和6年度は交付金ではなくて一般会計の中での委託料で予算化をいたしました。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 5番興野一美議員。

○5番（興野一美） 消防団活動費の免許の取得なんですけれども、市内の教習所も少子化でやっぱり大変な地域だと思うので、極力市内の教習所で免許取得するように要望いたします。

J R 烏山線のことは了解しました。

特別会計、熊田診療所も了解しました。

コミュニティ助成事業も了解しました。

狂犬病等予防事業なんですけれども、先頃もニュースでありましたけれども、飼い犬にかまれたと、その犬は予防注射していなかったということですよね。61.6%の接種率、随分低いと思うんですけれども、これ、登録が1,221件、登録していない犬も見受けられると思うんです。狂犬病予防接種は犬の所有者の義務なんですよね、狂犬病予防法で。日本では1957年以来発生していないということなんですけれども、外国でかまれて日本で亡くなったという方もいらっしゃいますし、致死率ほぼ100%というのはほかの伝染病ではあまりないんですよね、これだけの致死率というのは。ですから、そういうことも鑑みると、もう本当にこれは大事なんじゃないかと思うんですけれども、このことについて再質問させていただきます。

あとの教育情報ネットワーク整備事業と広島平和記念式典派遣事業については了解しました。

○議長（渋井由放） 小原沢まちづくり課長。

○まちづくり課長（小原沢一幸） 確かに今年の2月に群馬県で犬にかまれたという事例があつて、そちらで狂犬病の注射をしているかどうかなんていうのも問題になった新聞記事が出ていたことは認識しております。狂犬病の接種率については、全国的な例で見ますと、1990年代はほぼ100%、それが2000年代に入り80%を切ってきて、2022年には70.9%が全国の接種率になっているようです。本市の状況ですと61.6%と、県全体で見ても低い状況になっておりますので、周知を含め強化を図っていき、接種率の向上に努めて

いきたいと考えます。

以上です。

○議長（渋井由放） 5番興野一美議員。

○5番（興野一美） 狂犬病、世界では毎年6万人以上亡くなっている、これは高い数字じゃないかと言われていいますので、ぜひよろしく願いいたしまして、質問を終わります。

○議長（渋井由放） ほかに質疑はございませんか。

6番青木敏久議員。

○6番（青木敏久） 6番青木敏久でございます。通告に基づきまして質問させていただきます。

まず、概要版5ページ、学校給食センター運営費について、物価高騰対策として食材購入費助成の詳細説明を願います。

同じく6ページ、中学生海外派遣事業費、堀江議員の質問と重複しますが、海外派遣事業の詳細説明を願います。

同じく11ページ、空家対策事業費、空き家の除却に対する助成の詳細説明をお願いいたします。

予算書111ページ、シルバー人材センター運営費補助金、前年度より86万円増の理由について伺います。

同じく113ページ、イノシシ捕獲等促進強化事業費補助金、前年度同額の理由について伺います。

同じく113ページ、個別支援会事業費補助金、個別支援会事業の詳細説明を願います。

同じく経営課題解決事業費補助金、経営課題解決事業の詳細説明をお願いいたします。

116ページ、烏山の山あげ行事保存伝承費補助金、前年度より60万円増の理由について伺います。

よろしく申し上げます。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） 概要版5ページ、学校給食センター運営費について、物価高騰対策としての食材購入費の詳細説明ということで御質問いただきました。

1日当たりの食材購入に係る経費ですが、平均で51万5,513円です。それに対します給食費は平均で45万91円です。毎日6万5,421円の赤字になります。その差額分と年間給食提供数197日を掛けたものが1,287万円でございます。この額を学校給食食材高騰対策交付金として交付するものでございます。

続きまして、概要版の6ページ、中学生海外派遣事業費、海外派遣事業の詳細説明というこ

とですが、先ほど答弁いたしました内容プラス、付け加えるということであれば、期間を7泊8日で考えております。費用ですが、60万円で見積りを取っております。個人負担2分の1ですので、30万円の個人負担ということで現在は予算取りをさせていただいております。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） 青木議員から御質問いただきました、概要版11ページ、空き家対策事業費についてお答えをいたします。

空き家の除却に対する助成費としまして156万8,000円を計上いたしております。市内に点在しております管理不全や老朽化が進んだ空き家等の除却に要する費用の一部を助成するものでございます。一部ではございますが、所有者等の除却を促進することを目的として実施するものでございます。対象となる空き家は、市内の特定空き家等が該当になります。解体工事を市内の事業者が施工すること、補助対象者につきましては、所有者または相続人であることでございます。補助額につきましては、補助対象経費の2分の1以内、50万円を上限としております。

よろしく願いいたします。

○議長（渋井由放） 岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（岡 誠） 御質問にありましたシルバー人材センター運営費補助金についてお答えいたします。

シルバー人材センター運営費補助金につきましては、シルバー人材センターの適正かつ安定的な運営を図るため、令和6年度において86万円の増額をしております。シルバー人材センターは、令和元年度以降、集中豪雨災害によるパソコン等の財産処分、コロナ禍における受注件数の減少、大口取引先の経営破綻に伴う受注件数の減少と様々な要因で収益が減しております。また、企業等の定年延長に伴い、シルバー人材センター会員数の減少、高齢化もあり、受注調整等も困難な状況となっております。さらに、令和5年度をもって2名の職員が役職定年となり、令和6年度をもって定年退職となります。それに伴い業務の引継ぎを行うため、職員の1名の増を予定しております。

公益社団法人シルバー人材センターは、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律において定められており、60歳以上の高齢者に就業の機会を提供し、社会参加を通じた生きがいのづくりや地域活性化、健康維持に寄与しているところです。

シルバー人材センターの経営状況となる補助金は、会員数、就業延べ人日数、入会率等、様々な要因から区分されており、国と市とで同額に設定されていることから、適正かつ安定的な運営改善を図るため、増額いたしました。

以上になります。

○議長（渋井由放） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 私のほうから予算書113ページ、イノシシ捕獲等促進強化事業費、110万円についてお答えしたいと思います。

このイノシシ捕獲等促進強化事業費につきましては、那須烏山市にあります鳥獣被害対策支援実施隊、46名、今、登録していますけれども、その方が行うイノシシの捕獲成功報酬、国から支払われますけれども、1頭当たり8,000円の補助金でございます。

このイノシシの捕獲頭数、年々減少してございます。令和元年度の実績が279頭、令和2年度の捕獲頭数は329頭、令和3年度が187頭、令和4年度が128頭、そして、今年度は2月末日現在117頭でございますので、前年度同額の理由は、130頭前後を見込んだことによって110万円という補助金の見込みを立てたところでございますので、御理解いただければと思います。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 星商工観光課長。

○商工観光課長（星 貴浩） それでは、予算書113ページの個別支援会事業費補助金、個別支援会事業の詳細説明をさせていただきたいと思います。

個別支援会事業ですけれども、こちらは補助対象としましては、那須烏山商工会を補助対象としております。那須烏山商工会が実施する事業が個別支援会というものでございまして、中小事業者を対象に実施する支援会、そちらの経費について補助率2分の1で補助をしたいと考えております。その金額が25万円でございます。

目的としましては、中小事業者の経営課題の洗い出しをすること、それを解決するための事業計画をその事業者と一緒に策定すること、その策定支援、それに伴いまして、事業者の経営基盤の安定と体質強化、技術力・商品開発力の向上を狙っていくというものでございます。

個別支援会の事業内容としましては、先ほど申し上げました経営課題の洗い出しの支援を一つの事業内容としております。それと、それを解決するために実施する事業の計画の策定支援、そして、その事業計画実施に活用できる補助金等の紹介と申請支援、こちらの3つの項目を個別支援会でやっていきたいと思っております。この支援会に参加することで、実は、その後の質問にもありました経営課題解決事業補助金の対象事業者になり得るという、そういったセットで考えてございます。

こちらにつきましては、15日間、15回程度の実施を考えてございます。

続きまして、経営課題解決事業費補助金の説明でございます。

こちらは、先ほどの個別支援会を受けた事業者が、そこでつくりました経営課題の解決事業

計画を策定して、その事業を実施するために必要な経費を支援させていただきます。対象事業者は20件を予定しております。

具体的な対象経費でございますが、建物等の事業拠点の改修経費、あるいは、事業の用に供する機械設備や備品の購入費、パンフレットの作成、広告の掲載、また、経営、経理、労務、法務等に要する専門家への業務委託、そのほかにも幾つかあるんですけども、これらをメインとしまして、そういった経費に係る経費を助成していきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美） 予算書116ページ、烏山の山あげ行事保存伝承費補助金について、前年度より60万円増の理由ということをお答えいたします。

烏山の山あげ行事保存伝承費補助金につきましては、平成20年度から10年以上同額で補助してまいりました。その間に消費税が5%から10%へ増額、花笠や足袋、地下足袋などの物価についても2.5倍から5倍程度上昇している状況です。自治体が弱体化している、それと保存継承の意欲を支えなければならないなど様々な課題がある中で、経費抑制の工夫も求めますが、現状を勘案し60万円の増額としているところです。

以上です。

○議長（渋井由放） 6番青木敏久議員。

○6番（青木敏久） 御説明ありがとうございました。

私のほうからは何点か質問させていただきます。

まず、学校給食センター運営費についてですが、食材や光熱費が値上がりし、調理を委託する民間会社の破綻で給食がストップしていると騒動がございました。学校給食摂取基準、中学生では830カロリーということでございますけれども、このカロリーが食材の高騰によって満たされているのか、栄養価が満たされているかというのがまず第1点。あと、給食において、地場食材と申しますか、地元の地産地消、食材をどのくらい購入されているのか。そして、また、防災の観点からいうと、お米とかは備蓄が利きますので、そういう災害対応として米の備蓄が行われているのかと、これについて再質問させていただきます。

また、中学生海外派遣事業費、1人頭60万円を想定しているということですがけれども、海外での体験を通じて英語力の向上、国際感覚を養う等ということですがけれども、英語を公用語としている国、例えば、アジアでもフィリピンとかシンガポールとかインドとか、先ほどパキスタンの話も出ましたけれども、公用語にしております。アメリカとオーストラリアを想定しているということですがけれども、金額840万円ですので、ほかのアジアの候補地とかも考えていらっしゃるのか、この点について質問いたします。

あと、狩猟に関して、イノシシの捕獲に関してですけれども、質問は、御説明のほうは理解しましたけれども、狩猟免許の所持者の平均が、60歳以上の方が6割を超えたということもございまして、有害鳥獣による農産物の被害とか生態系の影響を抑えるために、担い手の確保はどうしても求められます。そこで、鳥獣被害対策実施隊46名と御説明がございましたけれども、その年齢構成について分かっていたら教えていただきたいと思います。

そして、また、この駆除において捕獲が減っているという、私も実際にお話を聞くと、罠にかかっても、やっぱり人手がないので、そのまま放置されて死んじゃったとか、原因は何かというと、水分が取れないからかなと、いかにしても人がいないという話も聞いております。そういうことも含めて、狩猟の魅力を伝えるイベントとか、また、ジビエの料理といいますか、ジビエの利用拡大とかということも含めて、その課題についてお答えいただければと思います。

以上です。よろしくお願いします。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） まず、学校給食センターでの御質問をいただきました。

取得するカロリー基準、こちらが満たされているかということですが、栄養士の管理の下、こちらはしっかりカロリーは摂取しております。

それと、地場食材をどのくらい使っているかということなんですが、地場食材の定義が栃木県、県全体での地場ということになります。それと、金額での割合ということに変わりましたので、それについては、今現在、手持ち資料がございませんので、また後ほど追加答弁をさせていただきますと思います。

それと、災害用の米の備蓄をしているかということなんですが、学校給食についてはそちらはしておりません。農協から買い上げておりますので、そちらでの米購入ということになります。

それと、海外派遣につきましては、アジアを考えているのかということですが、アジアにつきましては、最近英語留学でフィリピンのセブ島辺り大変人気があるということですので、必ずしもアジアを抜かしているということではなくて、予算取りとして、アメリカ、オーストラリアを考えているということです。アジアも含めて考えていきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） イノシシの捕獲に関しまして、今、実施隊46名いらっしゃいます。そのうち、猟銃による駆除をしている方が24名、くくり罠による狩猟をしている方が37名、また、犬を使って捕獲する巻狩、それが23名いらっしゃいますけれども、いずれも60歳を優に超えています。本当に実施隊の方々の確保というのがこれから難しくなってくる

のかなというところがございますので、狩猟免許の補助なんかもしておるんですけども、なかなかその確保が難しい状態になっているところがございます。

さらに、捕獲しても、今現在、那珂川町にありますイノシシの加工センター、豚熱の関係で搬入ができない状態になっておりますので、捕獲してもその場に埋めてしまうとかいうふうになってしまいますので、なかなかジビエの活用という点でもちょっと難しい状況でありますので、今後いろんな課題等を整理しながら、実施隊の確保、またはジビエの活用についても検討を図ってまいりたいと考えてございます。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 6番青木敏久議員。

○6番（青木敏久） 了解しました。ありがとうございました。

○議長（渋井由放） ここで暫時休憩いたします。再開を13時15分といたします。

訂正いたします。再開を13時05分といたします。

休憩 午後 0時08分

再開 午後 1時05分

○副議長（青木敏久） 議長の都合によりまして、しばらくの間、私が議長の職務を行います。

休憩前に引き続き会議を開きます。

ここで、午前中に行われました総括質疑におきまして、執行部から追加答弁がございます。

黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美） 午前中の堀江議員の質問で答弁を追加させていただきます。

生涯学習施設整備計画策定事業費、こちらの答弁をした際に、屋外運動施設6か所と申し上げた中で、1か所、漏れておりました。愛宕台運動公園が漏れておりました。6か所は、大桶運動公園、緑地運動公園、烏山運動公園、烏山野球場、南那須運動公園、愛宕台運動公園の6か所になります。

よろしくお願いします。

もう1点、向田体育館管理費関係の御質問の中で、利用者数のところですが、概算になりますが、年間で2,300人程度です。週1回の活動されている団体が3団体ございますので、50名弱の方が毎週活動されております。

以上になります。

○副議長（青木敏久） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） 先ほど青木議員から学校給食センターの御質問をいただきま

して、その中での、地元食材の割合に対して追加答弁をさせていただきたいと思います。

令和 5 年度で県に報告しております割合ですけれども、62.45%、こちらが地元食材の割合でございます。

以上です。

○副議長（青木敏久） ここで報告いたします。14番、中山五男議員から、資料の配付の依頼がありました。議長においてこれを許可いたしましたので、報告します。

質疑はありませんか。

7番矢板清枝議員。

○7番（矢板清枝） それでは、令和 6 年度予算総括質疑をさせていただきます。

ちょっと訂正をさせていただきます。通告書を間違えまして、予算と入れたつもりだったんですけど、決算になっていまして、本当に申し訳ありません。そこは予算に直していただければと思います。

私は、概要版 4 ページ、予防接種事業費、育児支援事業費、助成対象人数内訳などの詳細をお伺いしたいと思います。

次が、5 ページ、地域包括支援センター運営費、重層的支援体制の実施に向けた事業内容をお伺いいたします。

5 ページ、带状疱疹予防接種事業費、新規事業の概要についてお伺いします。

6 ページ、中学生海外派遣事業費、これは 2 人の方からも伺っているところなんですけれども、私ももう一度詳細を伺いたいと思います。

6 ページの高等学校教育振興事業費、事業の概要をお伺いいたします。

9 ページ、定住促進対策事業費、事業の概要をお伺いします。

10 ページ、在宅高齢者支援事業費、在宅高齢者用の緊急通報装置の利用状況と、6 年度の利用件数をお伺いいたします。

11 ページ、J R 烏山線利用促進事業費に関しましては、興野議員から同じ質問がありましたので、それは理解しましたので、割愛いたします。

12 ページ、総合戦略推進事業費、事業の概要をお伺いいたします。

それから、予算書 112 ページ、産科初診費用補助金減額の理由についてお伺いいたします。

116 ページ、花づくり推進事業参加団体交付金、減額の理由をお伺いいたします。

以上です。

○副議長（青木敏久） 水上こども課長。

○こども課長（水上和明） それでは、私のほうから、まず、概要版、4 ページ、予防接種事業費、育児支援事業費の助成対象人数等についてお答えいたします。

まず、予防接種事業費の中のおたふく風邪予防接種費の助成51万円について御説明申し上げます。

事業の目的は、おたふく風邪に罹患しますと、髄膜炎や脳症、脳炎、難聴、精巣、卵巣炎などを引き起こすおそれがございまして、集団感染蔓延防止の観点から、広く接種の推進を図るものでございます。助成の詳細についてですが、おたふく風邪の予防接種は任意でありまして、1歳以上で接種することができます。日本小児学会は、予防効果を確実にするために、12か月から15か月に1回の接種、5歳から6歳で2回目の接種をすることを推奨しています。対象は、1歳以上の未就学児としまして、1回3,000円を1人につき2回まで助成いたします。令和5年10月の、1歳から6歳までの人口から接種見込み数を割り出しまして、170回分を予算計上させていただきました。

次に、育児支援事業の中の、乳児1か月個別健診費の助成45万円、及び先天性股関節脱臼検査費の助成45万円について御説明申し上げます。

まず、乳児1か月個別健診費の助成ですが、生後間もない赤ちゃんの健康保持や、先天性疾病の早期発見の推進のために助成するものでございます。受診費用のうち5,000円を限度額として、90人分を予算計上いたしました。

次に、先天性股関節脱臼検査費の助成ですが、先天性異常を早期に発見し、治療につなげるため助成するものでございます。受診時期は、生後3から4か月を目安としておりまして、受診費用のうち5,000円を限度額として90人分を予算計上いたしました。

続きまして、予算書112ページ、産科初診費用補助金、減額の理由について御説明申し上げます。

この産科初診費用補助金、これは現在、県の事業として行っているものでございます。令和5年度の当初予算の編成時は、県が事業主体になるか、市が事業主体になるかはまだ決まっておらなかったもので、市のほうで5万円を予算化したところでした。その後、事業主体が県となりましたことから、6年度は予算計上せず、結果5万円の減額となっているものでございます。

以上です。

○副議長（青木敏久） 岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（岡 誠） 矢板議員からの御質問のうち、健康福祉課に係るもの3点について、御説明申し上げます。

まず、概要版5ページの地域包括支援センター重点的支援体制実施に向けた事業内容ということで、これまで子供、高齢者、障害、生活困窮等、様々な課題を抱える人たちに対してそれぞれの相談機関が支援、必要に応じて他機関との連携を図り、支援に当たってまいりました。

重層的支援体制整備事業実施に伴い、相談者の属性や世代を問わず、包括的に相談を受け止め、さらに複雑化、複合化する課題に対しては、コーディネーターを中心に他機関が共同して支援に当たることとなります。令和6年度の地域包括支援センター運營業務に関しては、これまでの相談業務を継続しつつ、関係機関との支援ネットワークを図るとともに、専門職が専門性を生かし、多様な相談への対応が図れるよう、相談体制の強化に向けた人員配置を予定しているところでございます。

続きまして、概要版5ページ、带状疱疹予防接種事業費についてでございます。

まず、目的としまして、任意接種である予防接種の費用の一部を助成することで、带状疱疹の発症及び重症化予防と、接種希望者の経済的負担の軽減を図ることを目的としております。対象者としましては、接種日において、当市に住民登録がある50歳以上の方、初年度は、対象者1万4,440人に対して4%の578人を見込んでおります。助成額につきましては、生ワクチンが上限4,000円を1回、不活化ワクチンが上限1万円を2回、助成回数につきましては、生涯いずれか一方を1度限りとしております。助成方法としましては、南那須医師会と委託契約の上、管内協力医療機関で受診する場合は現物給付、それ以外の医療機関を受診する場合は償還払としております。事業開始が令和6年4月1日から、周知としまして、医療機関での周知やホームページやお知らせ版等での周知と考えております。

続きまして、概要版10ページ、在宅高齢者支援事業費の在宅高齢者用緊急通報装置の利用状況と6年度の利用件数についてお答えいたします。

令和6年度における在宅高齢者用緊急通報装置の利用者数については、令和6年2月末現在、高齢者16名、障害者4名、計20名が利用しております。また、令和6年度の見込みとしては、高齢者19名、障害者8名、計27名の利用を見込んでおります。令和5年度と比べ7名増の理由としまして、令和5年度においても、一定数の方は、年度途中で新規利用される方もいれば、入院等の理由により利用解除となる方もおり、今年度においても実利用者数は25名であったことから、増として見込んだところでございます。

以上になります。

○副議長（青木敏久） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） 概要版6ページ、中学生海外派遣事業費です。

こちら、海外へ中学生を派遣し、現地の学生やホームステイ先でのホストファミリーとの交流などを通じて、英語力の向上と国際的視野を広めることを目的にする事業でございます。姉妹都市でありますメノモニー市への派遣が困難となったことから、姉妹都市にこだわらないで派遣をすることといたしました。中学生10名、随員2名を想定しております。日程は7泊8日、予算が1人60万円、負担金が30万。派遣先は、アメリカもしくはオーストラリアを

考えております。

続きまして、同じく6ページの高等学校教育振興事業費でございます。こちらの目的ですが、烏山高校存続のために、烏山高校への入学者の確保、及び保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的として、令和5年度からスタートした事業でございます。補助対象は、烏山高校に通学するために路線バスの定期券を購入する生徒の保護者です。補助対象経費は、定期券の購入費です。補助額ですが、定期券購入費用の4分の1の額でございます。

以上が、事業の概要となります。

○副議長（青木敏久） 小原沢まちづくり課長。

○まちづくり課長（小原沢一幸） 概要版の9ページ、定住促進対策費についてお答えいたします。

定住促進対策費につきましては、移住相談、移住フェア等への出展に係る経費を26万1,000円計上しているほか、補助金としまして、東京23区等から本市へ移住者に対する移住支援金300万円、令和6年度から新設させていただく結婚新生活支援事業補助金180万円の合計506万1,000円を計上し、定住促進を図るものとなります。

補助金について詳細に説明させていただきます。移住支援金は、こちら、交付要件が住民票を市に移す直前の10年間のうち、通算5年以上東京23区に在住、または東京圏に在住しまして23区への通勤をしていた方で、移住後の就業先が移住支援金の対象となる県のマッチング支援事業実施要綱に定める企業情報掲載サイトに登録している求人であること、またはテレワーク、もしくは、こちらで起業することが要件となっております。交付金額については、単身の場合は60万円、世帯の場合は100万円。18歳未満の世帯員がいれば、1人につき100万円が加算となるものになります。

次に、結婚新生活支援事業費補助金であります。こちらは、交付要件が、新婚世帯であって、夫婦ともに婚姻日における年齢が40歳未満の方で、申請時、夫婦双方か一方が本市に住民票があることが要件となってきます。夫婦の合計所得が500万円未満であること、補助金申請及び交付日において市内に居住していること、市税を滞納していないことなどが条件となっております。補助対象の経費につきましては、住宅の購入費、リフォーム費、賃料、敷金礼金、仲介手数料や引越し費用なども対象となってきます。いずれも、支払ったことが分かる領収書が必要となってきます。補助金額につきましては、夫婦ともに30歳未満の世帯については上限60万円、31歳から39歳の方が上限30万円となっております。

以上になります。

○副議長（青木敏久） 菊池総合政策課長。

○総合政策課長（菊池義夫） 総合戦略推進事業費についてお答えいたします。

先ほど福田議員にも、その事業の効果について若干述べさせていただきましたが、事業の概要ということなので、もう少し詳細、説明させていただきます。

まず、企業版ふるさと納税を検討している企業とのマッチングのための業務委託料になります。本市で当初予算、想定していますのは寄附額1,000万円の確保を目指しております。それに対する成功報酬20%の消費税ということで220万円を予算計上させていただいております。

なかなか県内では事例は少ないんですが、新聞等で掲載された情報は、茂木町が足利銀行とのマッチングで企業の紹介を受ける、そういった寄附の紹介を受けるというような事例は県内ではございます。本市も、そういった目標を掲げて取り組んでみたいと考えております。

以上です。

○副議長（青木敏久） 黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美） 私のほうからは、予算書116ページ、花づくり推進事業参加団体交付金、こちらの減額理由についてということでお答えします。

これまで地域活動推進事業費をさらに2つに分けて、地域活動推進事業費と花づくり推進費として事業化しておりましたが、いずれも地域のコミュニティーの自主的な生涯学習活動及び世代間交流活動を推進するという目的で実施しております。

それぞれの事業申請を受け付けてまいりましたが、地域触れ合い事業の事業内容の1つに花づくり事業を入れて取り組まれている団体もあることから、今回、地域触れ合い事業を整理いたしました。

これを機に、花づくりを核として、さらに活動の幅を地域触れあい事業に広げて取り組まれていくことを期待しております。

以上になります。

○副議長（青木敏久） 7番矢板清枝議員。

○7番（矢板清枝） 粗々お話を伺い、理解したところでございます。

1点だけなんですけれども、中学生海外派遣事業についての再質問をさせていただきます。

今回、派遣先をメノモニー市以外とし、中学生10名、随行2名をつけ7泊8日で計上しておりますけれども、かなりの金額、今までは個人負担が20万円ということで、10万円のベースアップがされていきました。そういう予算計上になっております。この事業の内容は理解したんですけれども、まず、中学生の海外での体験というのは本当に人生感が変わる大きな体験であると、海外派遣を体験された方が、人生観が変わり、まるきり日本に住まず海外で生活を送ったという話も受けるくらい、この事業に対しては本当に大事な子供たちの機会なのかとは思っているんですけれども、内容的には、もしかしたらホームステイ先がきちんと決まらない

のかな、決まっていくのかなと、その不安定な部分というのがあるのではないかと。また、海外先の生活が体験できるしっかりとした内容が充実されていかなければいけないのではないかと考えるんです。

それで、目的と考え方について、教育長はどう考えているのかということをお尋ねしたいと思うんですけども、いかがでしょうか。

○副議長（青木敏久） 田代教育長。

○教育長（田代和義） 御指名ですので、お答えします。

はっきり言いまして、計画そのものが、まだ完全に明確でないと。先ほど申し上げたように、旅行会社を使って今回行かなければならないということで、旅行会社との交渉の中で、はっきり言うと、ホテル住まいでずっといくか、それとも3日ぐらいホームステイできるかとか、そのような状況で、メノモニー市のように、ほぼ全泊がホームステイをできるということはかなり難しいと思っています。先ほど申し上げたように、さくら市のように、最初業者を使って行って、向こうの様子とか、それから向こうの学校と、または向こうの市町等と連携ができるようになって教育委員会で行うようになったという話ですので、やはり最初は、どうしても我々も初めて行くところですので、徒手空拳で行く形になりますから、やはり業者のほうと調整をしながら、できるだけメノモニー市と同じような形になるような方向性ではいきたいと思っていますが、まだはっきりと業者のほうとの連携とか打合せしておりませんので、今お話しできるのはその程度までということです。

○副議長（青木敏久） 7番矢板清枝議員。

○7番（矢板清枝） せっかく事業を実施するという計画を立てているのですから、コーディネーターがしっかりされていて、業者をしっかり立ててやるなり、計画倒れしないように、また、子供たちの、10名という限られた人数ですので、その効果がしっかりと見られるように、計画を練って、喜んで皆さんが行ってこられ、しっかりと事業の報告ができるような、そういう内容にしていいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

後の詳細については、皆、おおむね理解いたしましたので、しっかり計画をされた以上、そこを推進していただいて、この計画の報告がまた聞けるように楽しみにしていますので、よろしくお願いいたします。

○副議長（青木敏久） ほかに質疑ございませんか。

9番小堀道和議員。

○9番（小堀道和） それでは、予算の審査なんで、本当に効果ある項目かどうかという観点と、あとは、やはり予算のときに計画がしっかりしないといけないので、一般質問で話したように前例踏襲の脱却ということも含めて、何点か質問いたします。

かなり用意したんですけれども、半分ぐらいはダブってなくなるんじゃないかと思ったけど、意外に全然減ってないんで、12か13項目質問いたします。

一番最初は、私のレジュメで①のところなんですけれども、予算規模の基本的な考え方の中で、毎年、継続して、私、確認していますけれども、令和6年度の公共施設の統廃合計画の項目と、具体的な目標を伺います。これは、長期的に延べ床面積を50%弱減らさなきゃいけないという高いハードルなんで、これは毎回質問している内容です。

それと、未来につなぐ健やかな暮らしを支えるという中で、②若者交流事業、これに関しては荒井議員とダブっていますので、これは割愛いたします。

次の③、にこにこ保育園終了後の有効活用をどう考えているのか伺います。保護者など関係者に希望を聞いているのか、また、希望に沿えるような検討を進めてほしいんですけれども、これは計画できちんと立てなきゃいけない内容なので、4ページのところを確認したいと思いますので、見解をお聞かせください。

あと、5ページ、④としての問いなんですけれども、学校給食センターの運営費、物価高騰で1,287万円、先ほど学校教育課長のほうからその内容を聞きましたけれども、ただ、材料が高騰している分を上乗せしますよというようにしか聞こえないんですけれども、努力して出費を抑える方策をちょっと伺います。

同じく5ページなんですけれども、社会福祉事業費1,455万円なんですけれども、高齢者、障害者、子育て世代等に対する重層的支援とありますけれども、詳細を伺います。特に従来と変えた内容及び本市独自の取組というのが大事なんで、これがどれなのかを教えてください。

あと、6番目、地域包括支援センター運営費3,920万円、これ、先ほどの矢板議員とダブっているんですけれども、私の質問としては、⑤と同じように、本市独自の取組についてどんなものがあるのかを教えてください。

あと次、5ページ同じなんですけれども、社会福祉協議会活動支援事業費3,090万円、これは改まって聞いてないんですけど、社会福祉協議会助成金、直近5年間の推移と、この社協に助成する金額のルールはどういうルールで拠出しているのかというのを改めてお伺いいたします。

それと、⑧学校給食センター運営費4,004万円、これは新聞にも掲載されましたけれども、パンの購入について何でお金がかかるのかを改めてお伺いいたします。

それと、未来につなぐ学びを育むという中で、6ページなんですけれども、地域と連携した学力向上戦略に上げている特色ある学校教育の推進、具体的な取組のアイテムと、予算の金額についてお伺いいたします。

それと、中学生の海外派遣に関してなんですけれども、これは何人かの議員から質問が出ていたんですけれども、私としては、派遣するばかりじゃなくて来てもらうというのがすごく我が市に

とって、子供たちにとって影響がすごく多いので、必ず予定の中とか、計画の中に来てもらうという項目を入れてほしいんです。今回、そういう計画を考えているのかどうか、考えないと抜けているよということを言いたいので、この見解をお願いします。

それと、7ページ、伝統文化の活用継承戦略の中で、旧向田小学校にある展示室、これはすごく内容が充実していると思うんですけども、前にちょっとお願いしたことがあるんですけども、ジオパークのコーナーの併設もお願いしますよというのが、最近僕は行ってないんで分からないけど、これはどこまでできているのか教えてください。

それと、あとは自分の担当なんで、未来につなぐ安全安心な暮らしの中で、災害に強い国土強靱化戦略というのがありますけども、これはこの予算とは関係ないかもしれないんだけど、上流ダムの放水、西荒川ダムとか、要するに荒川ダム上流、これを勝手に放水されてしまうんで、塩谷町辺りまでは放水するときには警報が鳴るんですけども、うちはその情報を受け取っているのか、それともまったく連絡が来ないのか。これは、よくよく考えたら、すごい災害につながる可能性があるんで、放水の連絡を受信したら、何らかの形で、防災行政無線や@ I n f o C a n a l でもいいんですけども、市民に知らせるということが必要なんじゃないかと思うんです。これは実際に、うちの前の荒川が急に水が増えて、流されて必死になって逃げたみたいなのが何人もいるということも併せてお伝えしますので、これに対しての見解をお願いします。

それと、2ページに未来につなぐ持続可能な行財政運営を築くという中で、私の質問で16なんですけども、費用対効果の高い行財政戦略という、こういうすばらしい文字が並んでいるんですけども、費用対効果の高いという枕言葉と私は思っていますけども、具体的な数式の定義がないまま使って戦略を立てているという印象が強いんですけども、今年度からは、計画策定時に明確な数値的な定義を打ち立てて計画立案してほしいんです。これは、なぜ言っているかという、計画したときにこれができなかったら、もう1年たったら、前と同じ前例踏襲になってしまうんです。そういうことでお願いします。

あと、最後ですけども、予算書の中の13ページに、⑰重点戦略及びその他の重点事業内容を精査しても、市民の士気を大きく鼓舞する目玉予算がないというのは、全体的に私が見て感じた印象なんですけど、とても残念です。やっぱり市民の士気を大きく鼓舞する目玉予算が編成できる戦略をぜひお願いしたい、これは要望です。

以上、よろしくお願いします。

○副議長（青木敏久） 菊池総合政策課長。

○総合政策課長（菊池義夫） まず、①番目の予算規模の基本的な考え方の御質問でございます。

公共施設総合管理計画において設定いたしました、令和29年度から令和8年度まで、10年間の公共施設の延べ床面積を10%以上削減すると総合計画のほうにも明記したところでございます。これらの目標の実現を図るため、令和6年度には、生涯学習施設整備計画を策定して、計画的な統廃合に取り組むということで、延床面積の削減に向けて鋭意努力してまいりたいと思っております。

16番の、費用対効果の高い行財政戦略というところの御質問でございます。

第三次総合計画におきまして、費用対効果の高い行財政戦略ということで、ふるさと納税の増加、増額、企業版ふるさと納税の推進、クラウドファンディングの活用、基金の運用等財源の確保、公共施設の更新統廃合、長寿命化による財政負担の軽減、平準化に努めることなどが掲げられております。このうち、数値的な目標としまして、ふるさと納税については、総合計画の目標値でもあります5,000万円、公共施設の延べ床面積の削減については10%以上としております。そのほか、企業版ふるさと納税の推進、先ほど申したクラウドファンディングの活用などを努めてまいりたいと考えております。

17番目の予算の特徴の部分の御質問でございます。

市政懇談会とかタウンミーティング等を通して、市民ニーズの高い事業を展開するよう努めてまいります。広く市民に対して情報を発信して、市民が主役のまちと思っていただけるよう事業の展開を図ってまいりたいと考えております。当然、市民のやる気が起きるような励まし予算みたいな、市民参加型戦略みたいなものは目指すべきとは考えておりますが、今申し上げましたような市民ニーズの高い事業を展開できるよう、広く市民の声を聞いてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

○副議長（青木敏久） 水上こども課長。

○こども課長（水上和明） 私からは、質問書の③にこにこ保育園終了後の有効活用ということで、お答えさせていただきます。

現時点で、保育園終了後の活用については未定となっております。希望調査は実施しておりません。

にこにこ保育園は、現在、浸水想定区域に指定されていることなどもありますので、終了後につきましては慎重に検討してまいりたいと考えております。

以上です。

○副議長（青木敏久） 田代教育長。

○教育長（田代和義） 私のほうからは、⑨、6ページの地域と連携した学校学力向上戦略の中の特色ある学校教育の推進ということでお答えいたします。

特色ある学校の推進につきましては、今年から各議員の皆さんには、学校だよりを毎号お送

りいたしまして、各学校がどのような取組をしているかというのをお知らせしております。そこに書いてあるように、各学校、その地域性の特性を生かした教育内容、カリキュラムをつくって、または地域の方を学校にお招きしたり、または校外活動で地域の方に説明をお願いするような活動を行っております。特別に、これが特色だというよりは、この小さい町の中ですから、一つ一つがそんな特色云々というのはなかなか難しいですが、ただ各学校におきまして、学校だよりに書いてあるとおり、本当にいろんな行事をここに持って、特色を出しながら、児童生徒の学力向上に努めていると、そのような状況でございます。

○副議長（青木敏久） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） それでは、概要版の5ページ、学校給食センター運営費での御質問をいただきました。

食材高騰が続いている状況ではありますが、栄養士の工夫を凝らした献立メニューによりまして、おいしく出費を抑えた食材品目を積極的に使用した給食提供をしております。今後も、経済状況を注視しつつ、食材などの購入に関しましては、実勢価格を把握しながら、栄養価を考慮した安心安全な給食提供を行ってまいります。

具体的な努力ですけれども、複数の取扱業者から見積りをとるとというのは、これはもう従来どおりですけれども、通常は、調理過程で捨てる食材も極力使用をしております。例えば、キャベツの皮はぎはしないで芯のみをくりぬいて使用をしております。それと、葉物野菜ですけれども、かさが減るんです。見た目も、やはり乏しくなるため、根菜類、根菜野菜、そういったものを中心に使用をしております。それと、日持ちする乾物類、かんぴょうとか干しシイタケ、ヒジキなどについては、価格が安い時期に大量購入をしております。それと、肉類ですけれども、安い部位に変更をしております。例えば、鳥肉であればもも肉から安い胸肉などに変更をしております。そういったことで努めております。

続きまして、同じく5ページの学校給食センター運営費の中での学校給食用パン購入の助成プラス4万円の分、こちらについての御質問ですが、こちらの補助金の金額は、学校給食用パン製造に係る1個当たりの経費から、栃木県学校給食会で定めるパンの単価を差し引いた額に、市内の学校に納品した個数を乗じたものであります。先日、境小学校で試験的に実験しました国見ミカンのジャムパン、こちらは単価150円になります。それと、小学校1年生で提供しているパンですけれども、こちらが単価51.3円、中学校3年生には60.4円で提供しております。その差額分の4万円を補助しようということで計上をさせていただいております。

続きまして、10番の中学生海外派遣事業ですけれども、こちら、受入れができれば、より一層の国際的視野が広がると考えております。受入れにつきましては、相手側との相互理解の上で成り立つものですので、姉妹都市との交流ができない今、新たな手法で考えなくてはなら

ないと考えております。そういったもので、受入れについては、実施については慎重に考えてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○副議長（青木敏久） 岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（岡 誠） 私のほうより、健康福祉に係る3問についてお答え申し上げます。

まず、5番、社会福祉事業費でございますが、重層的支援体制整備事業は、地域共生社会の実現を目的として、社会的孤立や育児と介護のダブルケア、8050問題など、従来の高齢者、障害者、子供、生活困窮者といった対象者別の制度では十分にケアし切れない複雑化、複合化したケースについて対応していくため、包括的な支援体制を構築し、悩みを抱えた人、世帯に寄り添った伴走型の支援を行う仕組みをつくれるよう設けられた事業であります。

また、本事業は、既存の相談支援や地域づくり支援の取組を生かす中で、各分野の制度や縦割りのハードルを下げることにより各分野間のスムーズな連携を促し、市町村全体の支援機関、地域の関係者が相談を断られず受け止めつながら続ける支援体制を構築することをコンセプトに、対象者の属性を問わない相談支援、多様な社会参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施するものであります。特に、従来にはない内容として、複合的な課題を有し、複数の機関による支援等が必要と判断される場合、他機関共同事業において課題解決に向けたチーム支援体制へとつなげていくことがあります。具体的には、複合的な課題について情報を整理し、情報共有や支援方針、役割分担、プラン作成等を行い、支援関係機関によるチーム支援につなげる役割を担う多機関協働コーディネーターを配置し、チーム内情報を共有しながら、継続的な伴走支援を行うことがあります。本市独自の取組は、今のところはありませんが、毎年見直しをし、事業を進めていくものですので、対象者のニーズに応じ、本市の社会資源を生かした地域づくり事業、参加支援事業につなげていければと考えております。

続きまして、⑥地域包括支援センター運営でございますが、現時点では、本市独自の取組はございません。

地域包括支援センターのほうでございますが、本市独自としましては、認知症地域支援推進員のほうを配置しまして人員の強化を図りまして、相談業務に当たっていきたいと考えております。

続きまして、⑦社会福祉協議会活動支援事業費でございますが、直近5年間の推移と、助成金額算出のルールについてお答え申し上げます。令和元年が3,000万円、令和2年が3,000万円、令和3年も3,000万円、令和4年が2,990万円、令和5年も2,990万円でございます。今年度100万円増しているんですが、こちらに関しましては、

人件費等の物価高騰分となっております。算出の部分でございますが、社会福祉協議会と協議によりまして、財政状況等を勘案しまして、当該法人の職員人件費を支出しているところでございます。

以上です。

○副議長（青木敏久） 黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美） 私のほうからは、⑪です。予算概要書の7ページ、伝統文化の活用継承戦略というところで、御質問が、旧向田小にある展示室にジオパークのコーナー併設案ということで何うということでした。

こちらにつきまして、旧向田小学校にある展示室については、昨年、旧向田小学校の2階に大昔の那須烏山が分かる教室ということで展示室を開設しております。1階には、国指定史跡の烏山城跡の展示室も設けてあります。また、現在、ジオパークに関する展示コーナーは、南那須庁舎の1階ロビーと山あげ会館1階に開設しておりますが、これらの展示室について、少しずつですが、周知されてきておりますので、来年度はまず、現状での展示の充実を図りたいと考えております。よろしくお願いします。

○副議長（青木敏久） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 予算概要書10ページ、災害に強い国土強靱化戦略に関係して、上流ダムの放水時における警報システムの確立というような点でございます。

現在は、国が令和2年4月に策定した事前放流ガイドラインに基づき、今のところ、ファクス、電話連絡等で市のほうにも情報は来ております。

今後、そういった警報システムについては、ダム管理者である県、河川管理者である国等と協議を交えながら、そういうシステムの設置が導入できるかどうか含めて、ちょっと話し合せていただきたいと思います。現段階では、行政情報伝達システム、本市のシステムで、ツールを活用したり広報車、そういったものを活用しながら周知をしていきたいと考えております。

以上です。

○副議長（青木敏久） 9番小堀道和議員。

○9番（小堀道和） 予算規模で、延床面積の話、これは本当に財政に対してはすごい影響があるんで、ぜひこれは計画的にきちんと立てて、フォローを毎月のようにやってくれていると思うんだけど、きっちりお願いいたします。

にこにこ保育園終了後の活用についてですが、こっちの南那須地区でも、子供さんと保護者とか家族できちんと遊べるような、そういう屋内の遊び場をぜひつくってほしいという要望があるんで、希望調査は実施していませんじゃなくて、希望を聞いてみてください、まず。それが再質問です。

それと、給食センターは、今、学校教育課長の説明は、それは全国どこでもやっている話なんで、そんなことじゃなくて、長野県の松川町の例ですが、農家が無農薬の野菜をダイレクトに給食センターに運び込んできてくる。売値も、実際に流通で買ってもらう金額の半分で十分ペイするんです。そこまでぜひやってほしいんです。前から言っている地産地消の本当の地域版というやつをやったり、そんな計画をぜひ検討してほしいんで、これ、見解をお願いします。

それと、地域包括支援センターとかの福祉関係の施策は本市独自のものを打ち出してほしいんです。そうでないと、前例踏襲のままになってしまうんで、それはお願いいたします。

それと、パンに関しては了解しました。

それと、地域と連携した特色ある学校教育の推進というのは、地域の人に応援してもらうとか、そういうことも大事なんだけど、その上の目的目標の中に人材育成、人間力向上というやつを、教育長、その上の概念において活動を進めてほしいんです。地域の人に積極的に学校に関わってもらうことはどこでもやっていますから、それをお願いします。コメントあったらお願いします。時間がないかもしれない。

それと、中学生の派遣の話は、ぜひ検討項目として受け入れるというやつに関しては、そういう必要性を感じているかどうかだけ、一言でいいですから、教えてください。

それと、旧向田小学校のことは分かりました。

それと、ダムの話、これは情報が来ているということだけで、新しい情報なので、それをうまく、どうやって知らせるかというやつは、防災無線とかその辺の関係でぜひ検討してください。

あとは費用対効果、これは今の総合政策課長の説明でもまだまだだと思うんで、説明しながらそう感じてもらっていただければいいので、ぜひ費用対効果というのをきちんと定量的に把握できるような、そういう計画をお願いします。

あと、重点戦略及びその他の重点事業内容については、話聞いてもわくわくもどきどきも何もしなかったんで、本当にこれがあったら、市民はみんなうれしいというやつが入るような予算を、ぜひ来年お願いしたいと思います。

終わります。

○副議長（青木敏久） 水上こども課長。

○こども課長（水上和明） にこにこ保育園終了後の有効活用につきまして、そのような希望を取るかどうかということも含めまして、慎重に検討していきたいと思います。

以上です。

○副議長（青木敏久） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） 学校給食センターの件ですけれども、実際には、野菜が高騰

している場合については、地元の農家から買い入れているということはしておりますので、改めて、そういったものは引き続き行っていきたいと思っております。

それと、海外派遣の件についても、その必要性ということですが、やはり来れば来るなりに、中学校に、例えばその海外の人たちが行けば、全体的にも、こういういろんな交流ができると思いますので、そういったものは必要かなとは思っております。

以上でございます。

○副議長（青木敏久） 岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（岡 誠） 社会福祉事業費、地域包括支援センターのほうの、本市独自の事業ということでございますが、まず、重層的支援事業に関しましては、事案ごとに随時問題を持ち上げまして見直ししていく形なものですから、その段階で発展させていきたいと考えております。

包括支援センターにつきましては、先ほど申し上げたとおり、認知症地域支援推進員のほうを市独自として人員の強化体制を図りたいと考えております。

以上です。

○副議長（青木敏久） 9番小堀道和議員。

○9番（小堀道和） 課題がたくさんあるのと、今年の市長の熱弁を聞いて、この予算を見るだけでは前例踏襲しか感じられないので、実際に予算を執行する際には、必ず市長以下、これはやっぱりもう少しこうやってみよう、ああいうふうにやってみようという、その都度見直しをかけていく文化をぜひ根づかせてほしいんです。だって、今までの答弁聞いていても、本当にこれはこうです、ああですとしか、全然私の胸に入ってこないの、そういうところから含めて、ぜひ今年、元年ということで頑張ってもらいたいと思うんですけども、そんなことでよろしいですか。

市長、一言何かあったらぜひ。

○副議長（青木敏久） 川俣市長。

○市長（川俣純子） 市民の安心と安全を守り、そして住んでよかったと思えるような行政を進められるよう努めていきたいと思っておりますので、今後ともアドバイスよろしくお願いいたします。

○副議長（青木敏久） 9番小堀道和議員。

○9番（小堀道和） オーケーです。

○副議長（青木敏久） ここで暫時休憩いたします。再開を14時10分といたします。

休憩 午後 1時58分

再開 午後 2時10分

○副議長（青木敏久） 休憩前に引き続き、再開いたします。

質疑はございませんか。

10番相馬正典議員。

○10番（相馬正典） 相馬でございます。よろしくお願いします。

最初に、すいません、訂正をお願いしたいんですが、ちょっと間違えまして、一番上の見出しのところ、予算の単位のところが千円になっていますが、一番上の項目だけ千円で、あとは全部下、円単位でつくってしまったので、申し訳ありません、ちょっと訂正をお願いいたします。

それでは、まず最初に、概要版のほうの総合政策課のほうで、一般会計の総括表です。

19番に繰入金がありますが、5億5,394万3,000円ですが、この内訳について、前日市長からもちっとお話があったと思うんですが、再度確認させていただきたいと思います。

繰入金につきましては、20ページに、基金の残高表にあるんですけれども、ここに会計の小計として約5億1,500万円、ちょっと4,000万円ほど足りないのかと思うんですが、そういった理由も、すみません、教えていただきたいと思います。

次です。これ、予算書なんですが、110ページの総務課です。南那須地区広域行政事務組合負担金、運営管理費6,035万6,000円です。昨年度よりも526万8,000円増されておりますが、その理由についてお伺いしたいと思います。

それから、すいません、行ったり来たりしますが、概要版です。農政課の概要版の13ページに、中山かぼちゃ及び八溝そばブランド向上支援事業費38万8,000円と10万3,000円がありますが、一応本市を代表するブランド品であるにもかかわらず予算が少ないのではないのかと、もう少し力を入れてもいいのかと思っておるので、その辺について、何回も農政課長には申し訳ないんですが、教えていただきたいと思います。

同じく農政課で、予算書の109ページに、農業用ため池廃止工事というのがございまして、1,500万円を予定しているんですけども、今後の、次年度以降、廃止するため池というのがあるのか、その数と地区が分かれば教えていただきたいと思います。

次の商工観光課のデジタル復元については、前議員の質問時に回答がありましたので、これはなしにします。

それから、次の予算書の73ページに、商工観光課で、商工振興貸付資金貸付事業費、1億8,711万円、昨年の貸付け実績と今年度の見込みについてお願いしたいと思います。

続いて概要版11ページの都市建設課です。都市計画街路山手通り線の整備ということで9,000万円です。整備の詳細と完了予定時期、総事業費等を教えていただきたいと思いま

す。

続いて、概要版の11ページにまちづくり課の脱炭素化の推進を図る個人向け太陽光発電設備等導入費用への助成であります。これも、前議員の質問でお答えをいただきましたので、1点だけ。この事業の令和6年の見込み数、これだけ教えてください。

続いて、概要版11ページの都市建設課の空き家の除去に対する助成、これも御質問をお答えいただいたんですが、本年度の見込み数を教えてください。

あと、予算書の67ページに、まちづくり課で、し尿処理費1億1,586万8,000円、昨年度より2,360万ほど減になっておりますけれども、そういった理由を教えてくださいと思います。

続いて、予算書の110ページ、まちづくり課、コミュニティ助成事業ですけれども、これも、御質問というか答えで伺ったんですけれども、本年度の見込み数、再度、4自治体と答えがあったと思うんですが、聞き漏らしてしまったので、もう一度お願いできればと思います。

すいません、これは通告にないんですけれども、昨日から話題になっております、都市建設課の防災集団移転促進事業の話で、1億4,000万円、旧境小学校を解体するところの、解体する建物の延べ床面積及び敷地の面積、それが分かったら教えてくださいと思います。

以上でございます。

○副議長（青木敏久） 菊池総合政策課長。

○総合政策課長（菊池義夫） 私のほうからは、繰入金と、それから総務課、まちづくり課であります南那須地区広域行政事務組合の負担金を、私のほうから一括して説明申し上げます。

相馬議員の通告にありました繰入金の合計、5億5,394万3,000円とありますが、下二桁3万4,000円になりますので、訂正をお願いしたいと思います。

それに対しての御説明を申し上げます。

まず、繰入金につきましては、予算概要の一番後ろにある基金の残高と合わないのは、あくまでも基金から一般会計に繰り入れて、それを一般財源に充てたという中身でございますので、御理解いただきたいと思います。一番主な繰入金としては、財政調整基金、これが4億500万円、それから市有施設整備基金が1億円、そのほかの繰入金につきましては、幾つかありまして、1つが介護保険特別会計からの繰入金1,581万2,000円、ふるさと応援基金からの繰入金1,401万9,000円、まち・ひと・しごと創生推進基金繰入金50万円、森林環境整備促進基金繰入金1,385万5,000円、富士見台工業団地整備管理基金繰入金、104万2,000円、奨学基金繰入金370万6,000円になりますので、合計で5億5,393万4,000円になります。

次の、南那須地区広域行政事務組合負担金管理運営費でございます。主な増額の内訳としては、人事院勧告に伴う人件費及び職員1名増員に伴う人件費の増が、644万6,000円ほどございます。ホームページの更新、いわゆる改修に伴う増額が108万円、それから金融機関窓口手数料有償化に伴う増額が55万円、議会研修費の増額が34万円となっております。

次に、し尿処理費の減額の理由についてでございます。主な減額の内訳としましては、令和5年度に増額をしました電気料について、実績に基づき計上した減額が約2,100万円、それから令和5年度に実施しました、し尿処理槽の清掃及び精密検査が終了したことに伴う減額が772万8,000円、また、歳入については、定期改修工事などへの基金繰入金の増額が約1,600万円となっております。

以上が、増減の理由になりますので、よろしくお願いしたいと思います。

○農政課長（深澤宏志） 私のほうから、中山かぼちゃ及び八溝そばブランド力向上支援事業、そして農業用ため池の廃止工事についての御質問がありましたので、お答えをさせていただきます。

中山かぼちゃブランド力向上支援事業につきましては、34万8,000円を計上しております。中身につきましては、中山かぼちゃペーストの学校給食への提供ということで14万8,000円、さらには、中山かぼちゃの新規栽培農家の支援、育苗施設の整備支援ということで、それぞれ10万円ずつ20万円、合計34万8,000円となっているところでございます。また、八溝そばのブランド力向上支援事業につきましては10万3,000円ということで、そば打ち体験の諸費用、または八溝そば推進協議会の負担金ということで10万3,000円を計上させていただいているところでございます。

御質問にありますように、本市を代表するブランド品でありますけども、ちょっと予算が少ないのではないかという御質問でございます。確かに、中山かぼちゃ、八溝そばは本市の貴重な農産物の1つでございます。これまでも品質向上対策をはじめ新規栽培農家の確保、または生産面積の拡大ということで、中山かぼちゃのブランド力向上を図ってまいりました。しかしながら、中山かぼちゃにつきましては、令和5年度の作付面積が14.8ヘクタール、15町歩、栽培農家が11軒にとどまっております。栽培農家の高齢化に起因しまして、中山かぼちゃの生産そのものが将来にわたってできなくなる状況に直面しております。

また一方で、八溝そばにつきましても、これまでそば生産者、またそば店に対する支援、畑地でのそばの生産振興、また、八溝そば街道、そばまつりも、ここ9年にわたり開催をしていましたけども、新型コロナウイルスの感染拡大、東日本大震災、令和元年東日本台風の影響で、ここ数年は開催ができなくなっております。このように、なかなか推進を図る意味で厳

しい状況でございますけども、引き続き、中山かぼちゃにつきましては、JAのみなみちゃんかぼちゃ部会との一本化も推進を図ってまいりたいと考えております。また、関係団体一丸となって新規栽培者の確保、さらには規模拡大者の確保にも努めたいと考えてございます。

一方の八溝そばにつきましても、今年度につきましては、大桶運動公園でやったような大規模なお祭りにはなりませんけども、JR烏山線の利用向上を推進と併せまして、小規模ではございますけども、JR烏山駅前イベント開催なんかも検討してございますので、こちらについても粘り強くブランド力の向上を努めてまいりたいと考えてございます。

農業用ため池の廃止工事でございます。こちらにつきましては、令和5年度に市内の重点ため池の防災工事が必要なため池18か所ございます。これの実施計画と、廃止工事の実施設計業務1か所、5年度に行ってございますけども、そのうち廃止工事の1か所を令和6年度は工事費として計上させていただいてございます。場所につきましては、大桶地区の那場内溜というところでございます。烏山城カントリークラブの北側にあるため池でございますけども、これの1か所の廃止を考えてございます。廃止工事については、このため池1か所でございます。今後、防災工事が必要な18か所については、随時工事費のほうを計上させていきたいと考えてございます。

以上でございます。

○副議長（青木敏久） 星商工観光課長。

○商工観光課長（星 貴浩） それでは、商工振興資金貸付事業費、こちらの実績及び令和6年度見込みについてお答えします。

まず、1年間の全ての実績が出ている令和4年度でございますけれども、令和4年度におきましては2億6,017万円の貸付けを行っております。令和5年度、こちらは2月末現在でございます。2億8,005万5,000円の貸付けを行ってございます。令和6年度の予算におきましては、見込みとしまして2億2,551万2,000円、こちらの金額を見込んで予算計上させていただいております。

以上です。

○副議長（青木敏久） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） それでは、相馬議員から御質問いただきました予算概要11ページの、都市計画街路山手通り線の整備についてお答えいたします。

まず、山手通り線でございますが、こちらは都市計画道路になっております。市道と県道が1本の都市計画道路となっております。市の烏山庁舎から那須南病院の信号まで、交差点までが市道、那須南病院の交差点から烏山高校の北側の信号交差点までが県道ということで整備については役割分担をしております。このことから、栃木県と那須烏山市が協力体制を整え整

備を推進しております。工事までの用地の取得に関する業務について市が取り組むこととしておりまして、令和6年度の予算に計上したものでございます。市が担当する部分、工事延長が約500メートルでございます。この区間につきましては、県道に合わせまして、無電柱化により工事を推進することとしておりまして、無電柱化の予備設計、それから道路計画の詳細設計、設計ができあがりましてからの用地買収のための用地測量、さらには、物件に対します物件調査というものを実施してまいります。以上4つの業務委託、その合計が9,000万円ということで計上いたしております。工事の総事業費につきましては、国に申請をしております段階では約14億円かかるということで計上をしております。

完了年度につきましては、あくまでも国に出している予定でございますが、それでは、令和12年度ということで予算のほうを要求しておりますが、用地買収等ございますので、これにつきましては不透明でございます。

次に、予算概要11ページ、空家の除却に対する助成費156万8,000円についてお答えをいたします。市内に点在しております管理不全や老朽化が進んだ空家等を除却することに要する費用の一部を補助するものでございます。対象となる空家は、市内の特定空家等が該当になります。その空家を市内の事業者によりまして工事をお願いしたもののについて補助をするものでございます。補助対象者は、所有者または相続人ということになります。補助額は、補助対象経費の2分の1以内、50万円を上限値とし、3件を見込んでおりまして、50万円掛ける3件で150万円を見込んでおります。

次に、防災集団移転関係で旧境小学校の敷地面積でございます。全体で1万3,000平方メートルでございます。建物につきましては、校舎部分が1,721平米、平方メートルです。体育館、それから倉庫等が473平方メートル。それからプールもございまして、プールが700平方メートル、プールの管理棟機械室が45平方メートルということでございます。

以上でございます。

○副議長（青木敏久） 小原沢まちづくり課長。

○まちづくり課長（小原沢一幸） 概要版11ページ、エネルギー対策事業費の見込み件数についてお答えします。

まず、太陽光発電設備につきましては30件、金額にしますと120万円。次に、定置型蓄電池、こちら20件、計200万円。次に、クリーンエネルギー自動車が18件、金額にして180万円。V2H充放電設備につきましては10件、100万円、こちら、合計で600万円となります。

次に、予算書110ページ、コミュニティ助成事業費補助金の件数なんですが、令和6年度につきましては4団体を見込んでおります。4団体の内訳については、小倉自治会、大桶中自

治会、日野町自治会、森田宿自治会。申請の内容につきましては、祭り用の太鼓の整備であったり公民館等のエアコンの設備の実施で、以上になります。

○副議長（青木敏久） 10番相馬正典議員。

○10番（相馬正典） それでは、二、三点お伺いします。

まず、総合政策課の繰入金なんですけど、その中でたしか当初予算の説明のときに、財政調整基金について、県からの指導というか、そういう意見もありましたというようなお話がありました。これについては、何か標準的な財政規模に対してどの程度とか幾らなんだといった標準的なものというものはあるものなんですか。それをちょっと教えていただければというのと、農政課の中山かぼちゃのブランドなんですけども、どうも何となくじり貧で推移しているような気がしますので、新たなものを何とか見つけていただいて、それを磨き上げていくというような形のほうがいいのかという気もするので、その辺もひとつまた次年度御考慮いただければと思います。

防災集団移転促進事業なんですけども、敷地面積が1万3,000平米ということで行くと、大体そこに移転する、当然道路をつくったり、その他のものをつくるんでしょうから、大体何戸ぐらいを想定できるのかということをお伺いしたいのと、1億4,000万円という金額ですが、解体費として果たして妥当なのかどうかというのも、面積にしてはちょっと高いのかという気もするんですけど、その辺の見解があれば教えていただきたいと思います。

○副議長（青木敏久） 菊池総合政策課長。

○総合政策課長（菊池義夫） 財政調整基金における市町村課から御指導いただいた部分でございます。

基準という部分では、こうだというのは私は聞いておりませんが、いわゆる普通会計、いわゆる統計上の決算の数値から、各市の自主財源でありますとか歳入の状況でありますとか、やはり実質の収支であるとか、そういう全体の、財政状況を勘案しての御指導だと思っております。あまりため過ぎるなど。いわゆるそういう部分が、率直に言うところだと思います。財政調整基金は何にでも充当できますので、そういったものであまりため過ぎるとどうなんだというところの御指摘で、具体的にこうしなさいという部分ではありませんので、一応その辺は十分勘案して、これからの財政運営のほうは図ってまいりたいと思います。

○副議長（青木敏久） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 中山かぼちゃにつきましては、相馬議員御指摘のとおり、本当に見直しの時期に来ているのかと思ってございます。生産者も11軒、そして先ほど、私、面積については14.8ヘクタールと言ったかと思うんですけど、1.48ヘクタール、大変失礼しました。148アールですので、1.48ヘクタール、1町5反の面積、また、生産量も今の

ところ1トン行ってないということで、本当に非常に量が少ない。そしてまた、中山かぼちゃの種、原種も県の試験場にはもうない状態なんで、今じか取りでやっていることで、なかなか生産者が増えないということでございますので、そちらについては、先ほど答弁させてもらったように、みなみちゃんカボチャ等の一体化も含めて見直しを今後、農協なんかとも図ってまいりたいと考えていますので、御理解いただければと思います。

○副議長（青木敏久） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） 旧境小学校の敷地面積1万3,000平方メートルございますが、体育館が建っている部分が一段高いということで、そちらは移転先としては考えておりませんので、それを差し引きまして、約1万1,700平方メートルに今回の移転先を考えております。1区画100坪、330平方メートルとして考えまして、今のところ14区画を入れるような形で計画をしております。

それから、解体費の1億4,000万円の金額の根拠につきましては、これまで市が解体をしました施設の平均等を考慮し算出をしておりますが、まず、先ほど申し上げました体育館が高いということで、高い体育館まで入るために、その仮設道を設置したり、それから学校の敷地なものですから、周りに樹木が結構、高木もありまして、そちらの伐採等もするということで、全てを考慮しまして1億4,000万円ということになりますので、御理解をお願いしたいと思います。

○副議長（青木敏久） 10番相馬正典議員。

○10番（相馬正典） 了解しました。

○副議長（青木敏久） ほかに質疑ございませんか。

11番田島信二議員。

○11番（田島信二） 全て予算書からの質問です。

17ページ、交通安全対策特別交付金200万円、25ページ、地籍調査事業費負担金2,181万3,000円、交通安全対策費と交通安全施設整備費、運転免許証自主返納者支援事業、大桶運動公園施設整備費は質問しません。

45ページ、交通指導員活動費867万9,000円。77ページ、道路維持管理費7,900万3,000円。77ページ、ふれあいの道づくり事業費1,000万円。77ページ、道路整備費3億3,465万4,000円。辺地道路整備事業費8,020万円について。

以上です。よろしくお願いします。

○副議長（青木敏久） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） それでは、予算書17ページ、交通安全対策特別交付金でございます。

これにつきましては、国のほうから頂く特別交付金でありまして、市内の交通事故発生件数、また改良済み道路延長により配分される交付金でございます。その主な使用目的は、道路標識やガードフェンス、防護柵、道路反射鏡、そういったものに使用できるような交付金となっております。

続きまして、予算書45ページ、交通指導員活動費でございます。

これにつきましては、大きく2つ、交通防犯指導員に対する報酬、ほぼ報酬、人件費にかかるものが多く、370万円ほどであります。そのほかに、交通指導員9名に係る、やはり報償金、これも430万円ほど人件費としてかかっているものでございます。

以上であります。

○副議長（青木敏久） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） 田島議員から御質問いただきました予算書25ページ、地籍調査事業費負担金2,181万3,000円についてお答えをいたします。

地籍調査事業費負担金につきましては、令和6年度に調査を実施します城山1地区、及び調査2年目となり閲覧や認証請求を進める中央5地区の全体事業費2,908万4,000円に対しまして、国からの補助が2分の1、県からの補助が4分の1ということで全体事業費の4分の3が2,181万3,000円となります。残りの4分の1が市の負担となります。

次に、77ページの道路維持管理費7,900万3,000円につきましてお答えをいたします。

こちらは、市道の維持管理に要する経費ということで計上しておりまして、主なものとしましては、道路維持管理に当たります作業員の人件費、冬場の降雪の対応ということで融雪剤の購入、夏場の草刈り用の混合油、それから替え刃等の消耗品費、それから業者委託をしております市内を4地区に分けて道路維持管理業務ということで委託をしております、その経費としまして4,000万円。それから、災害等緊急時にすぐ対応できるようにということで800万円。それから、除排雪作業を業者に委託します委託料としまして1,000万円。それから、都市建設課で使用しております公用車の費用、それから道路維持作業に使用します常温合材ということでアスファルトのものがございますが、常温合材、それから自治会からの要望により砂利等を補修用として支給しますが、そちらの原材料費を計上しております。その合計が7,900万3,000円でございます。

次に、ふれあいの道づくり事業費1,000万円についてお答えをいたします。

地域内の生活道路等、地元の方の労力奉仕により、市民協働で道路を整備するものに対しまして、市が工事に関わります機械借上料、生コン等の原材料費を支援するものでございまして、令和6年度においては、現在継続中のものも含め5地区の申請がございます。こちらの総額が

1,000万円ということで計上しております。

次に、同じく77ページの道路整備費3億3,465万4,000円についてお答えいたします。

国からの社会資本整備総合交付金を活用して整備を進めておりますのが8路線ございます。まず1つが、広域農道グリーンラインの大桶白久線、2つ目が、神長地内の烏山消防署の東側の道路、関下精神場線。3つ目が、富士見台工業団地内の富士見台工業団地線。4つ目が、上境地内の三ツ木松ノ木線。5つ目が、七合小学校の通学路として整備をしています谷浅見平野線。6つ目が、なすからこども園へのアクセス道路として整備します大金東原線。7つ目が、令和6年度から新規箇所となります下境の旧境小学校、浄土入山線ということで、防災集団移転の関係で整備します。この道路につきましては、浸水時の迂回路としての活用もできるものと思っております。8つ目が、同じく防災集団移転促進事業の宮原地区のアクセス道路として整備します宮原森下線でございます。

以上が、国からの交付金を受けて整備するものでございます。

次に、市単独事業として実施します2路線、1つが向田地内の荒川の災害復旧助成事業に伴いまして実施していただいております向田落合線、こちらにつきましては、負担金の計上でございます。もう一つが、長年、用地交渉が難しく、工事が実施できませんでしたが、このたび地権者の同意が得られましたことから予算を計上いたしました田野倉地内の保健福祉センターからJAの南那須支店へ行きます田野倉線ということで、これがやっとながるようになります。

以上が、道路整備として要する工事請負費と、整備に当たり必要となります土地の購入費、物件移転補償費用として3億3,465万4,000円となります。

次に、辺地道路整備事業費8,020万円でございます。これは、辺地対策事業債を活用して整備をするものでございます。2路線ございまして、1つが、広域農道八溝グリーンラインの下川井柏崎線。もう一つが田野倉から曲畑に通じます田野倉曲畑線でございます。令和6年度におきましては、田野倉曲畑線に重点的に予算配分を行い、事業促進を図ってまいりたいと思っております。

以上でございます。

○副議長（青木敏久） 11番田島信二議員。

○11番（田島信二） 了解。

○副議長（青木敏久） ほかにございませんか。

14番中山五男議員。

○14番（中山五男） それでは、まず、通告しておきました質問事項から申し上げます。

まず、一般会計、15ページの歳入にゴルフ場利用税があります。これは過去の歳入額を申

しますと、令和4年度は4,500万円、5年度は3,700万円の計上してあります。同じく令和6年度3,700万円を計上しているわけなんです。ゴルフ場は、こういった利用税以外に法人税から固定資産税と、多額の税金を納入しているわけです。私、思うんですが、市内の中小企業等には様々な支援があるんですが、これほど多額の税金を納入しているゴルフ場に対しては、全く還元されてないんじゃないかと。私、何年か前に一般質問でも申し上げたんです。検討しますと、それきりです。検討したのかどうか分かりませんが、やはりゴルフ場からいろいろと要望を聞いて、こういうところが公費負担でできるならやってもらいたいというのが多分あると思います。例えば道路の改修とか何か、この辺なんか十分あると思いますから、検討すべきじゃないかと思いますが、この辺のところはどうなっているのかお伺いをしたいと思います。

次、同じ歳入の19ページの道路占用料です。これは令和4年度は381万8,000円の決算額です。令和5年度はまだ予算額なんですが、令和6年度は356万1,000円と、逆に令和4年よりも下がっています。今回の条例で使用料を引き上げたにもかかわらず、なぜこれを逆に下がってしまったのかお伺いをしたいと思います。

3点目です。27ページに、農業費の県の補助金があります。これは、防災重点農業用ため池整備補助金として、県から1,500万円ほど頂けるそうです。先ほど、相馬議員からこれに関する質問があったんですが、私がお伺いしたいのは、これまでの事業実績と、今年度は、先ほど説明した1か所だと言いました。この補助率は何%なのか、新たにお伺いしたい。ため池の整備事業、解体撤去するような事業というのは、これからも続くんでしょうか。それとも、私、思うんですが、これほど緊急を要するような防災的なため池があるのかどうか、私はちょっと見当たらないんですが、この辺のところもお伺いします。

次、3点目です。やはり歳入27ページに、元気な森づくり推進事業交付金、これは、令和5年度が192万円、6年度が405万5,000円という額を上げています。那須烏山市の納税者1万2,780人、これで700円ずつ納めているわけです。そうすると、894万6,000円ほど那須烏山市の住民が納めているにもかかわらず、その半分にも満たない400万円というのは、極めて消極的な予算計上ではないかと。これは、去年かおとしも、私、申し上げたんですが、さっぱりこの辺のところは進展がないです。極めて私は遺憾です。

次に、39ページ、多分この人事管理費の中に含まれているのではないかと思います、職員採用の募集の状況です。今年の場合、まず、応募者が何人あったのか、それでもって第1試験が何人パスして2次試験、面接か何かあったんじゃないかと思いますが、そこに挑んだのか。実際に採用を、今の見込みは何名なのか。これは第1回目の募集では定員に満たなかったと、適当な人材がいなかったということで2次募集もしたようですが、この辺の状況についてお伺

いをします。

次に、45ページの同じく総務費の中に、烏山線利用向上委員会の交付金が100万円、この中にたぶん100万円載っているのではないかと思います。これは110ページにある負担金及び交付金、この中にこのような名称がありまして、これを挙げてみたんですが、実際これは何に使うのか、どのような効果が見込めるのかです。100万円を投入してですよ。

次に、47ページの定住促進関係です。結婚新生活支援事業費補助金、これも111ページの負担金補助金の中にある事業名なんですが、180万円、このことについてもお伺いをいたします。

次に、71ページの林業費です。森林経営管理制度事業費で、去年は1,360万円ほど、今年はちょっと少なくて940万円ほど上げておりましたが、この具体的な事業名と、どのような効果が上がるのかです。効果のことを私は聞きたいんです。

次に、73ページの商工振興費の中ではないかと思うんです。経営課題解決事業補助金、これも負担金補助金の113ページの中に載っていたものですから上げたんですが、新しい事業で400万円ほど上げましたね。この事業内容と、どのような効果をもたらすのか、400万円でもって、それについてお伺いします。

次に、77ページの土木費です。道路保全費、昨年、令和5年度の予算では1億3,300万円、今回は3,500万円と極めて額が少なくなったんですが、これほど少なくしていても、私が常に申し上げている中央線、6路線の白線、それに路肩の土砂撤去などができるんでしょうか、お伺いをします。

同じく、道路橋梁の維持管理費、これも1億1,600万円から今年は4,800万円と減額になりました。この辺の事情についてお伺いをいたします。

次、79ページです。これは、やはり土木費の河川費の中に急傾斜地崩壊対策負担金、去年は250万円のやつは今年ないです。これはなぜないのか。この実施箇所というのは見当たらないのか。県の林務関係が烏山から撤去してしまったから、どうも那須烏山市に対するこういった林務に関係する事業というのがおろそかになったのではないか。ややもすると、調査不足のところがあるのではないかと私は危惧しているんですが、その辺のところ、大丈夫なんですか。お伺いします。

それと、先ほど同僚議員がもう既にお伺いしたところなんですが、山手通り線の改良工事です。これは9,000万円でもって設計調査から全部やるんだそうですが、これは、かかった費用は全部市が負担するということになるんでしょうか。一切この事業を県に委託するという事なんですが、県も負担するところがあるのかどうか、その辺のところをお伺いをしたいと思います。

次に、大桶運動公園の管理費です。これ、1,000万円ほど計上してあります。その中で、管理棟の費用も含まれていると思うんです。その管理棟の中に、烏山の土地改良区の事務所が入っています。そうしますと、水道光熱費がかかるわけなんです。この費用は、多分、市が全額負担になっているのではないかと思います。以前はそうだったんです。これはまずいと、私、言いましたから、直ったかどうか、それを聞きたいんです。お伺いします。

次、大桶運動公園の施設整備費、5,582万5,000円を計上してありますが、これは令和6年度で全部完了するんですか。単年度なのか継続なのかお伺いをします。

次に、清水川せせらぎ公園整備費、今年は調査設計費で990万円なんです。これ、私、お伺いしたいのは、事業実施期間はいつなのか。それと、事業費、大方幾らぐらいに見込んでいるのか。やみくもに、ただ調査設計してくれというだけじゃないと思うんです。幾ら分ぐらいを見込んでいるのか、おおよそ額です。それと、繰り返しますが、何年ぐらいの計画で実施する考えなのか、お伺いをしたいと思います。

それと、81ページに空家対策事業費、これは114ページの補助金負担金の中なんです。ね。156万8,000円です。これは同僚議員が、もう既に聞いたんですが、私、ここで1点お伺いしたのは、特定空家ということについて最大限50万円補助するというんですが、この特定空家について、どういう空家を指すのか、これについてお伺いします。

それと、もう2つほど、同僚議員が質問した中で、私、2件ほど、質問といいますか、今加えたものですから、お伺いします。63ページの環境衛生費の補助金、太陽光発電導入600万6,000円を計上してあります。これに、個人住宅に設置しても最大限4万円補助をするのでしょうか。お伺いします。

○副議長（青木敏久） 菊池総合政策課長。

○総合政策課長（菊池義夫） ゴルフ場利用税について、御説明申し上げます。

ゴルフ場利用税につきましては、ゴルフ場が開発許可、道路整備、防災、廃棄物処理などの地方公共団体の行政サービスと密接な関係を有しております。ゴルフ場の利用料金は、他のスポーツ施設の利用料金と比較して一般に高額であります。その利用者の支出行為には、十分な担税力が認められることを着目して課税される税額ということで、御存じかとは思いますが、税収の10分の7について、ゴルフ場が所在する市町に交付されるものでございます。本市では、5つのゴルフ場がございますので、そういった部分の利用税が入ってまいります。このことから、ゴルフ場が多く利用されるほどゴルフ場利用税が交付され、市の活性化につながるというところでございます。

現在、市として直接的にゴルフ場の支援を行う事業は、申し訳ありません、今のところはございませんが、市政懇談会等では、かなりの市道に係る整備であつたりとか維持管理費の要望

が上がっております。そういった部分も考慮しますと、当然周辺市道の整備とか維持管理については、適切に行っていく必要があるものと考えておりますので、十分その辺を考慮して、庁内関係課と協議して検討してまいりたいというふうに思いますので、御理解いただきたいと思います。

以上です。

○副議長（青木敏久） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） 中山議員から御質問いただきました、予算書 19 ページの道路占用料でございます。

今定例会におきまして、改正案を可決決定いただきました。この当初予算には、その増分は含まれておりませんので、補正におきまして適切に対応してまいりたいと思いますので、御理解を賜りたいと存じます。

次に、予算書 77 ページの道路保全費の減につきましては、令和 5 年度におきましては、トンネル照明の LED 化という大プロジェクトがございました。こちらの経費に 1 億 2,000 万円ほどかけておりました。その予算が令和 5 年度には大きく膨らんだもので、その工事の完成をもって通年ベースの予算計上といたしたものでございまして、区画線等の工事にも 500 万円は確保しておりますので、よろしくお願いいたします。

道路橋梁維持管理費、こちらにつきましても、荒川にかかります三箇の上の青雲橋の橋梁補修工事、こちらが令和 5 年度完成ということで、通年ベースの予算となりましたことから 4,800 万円の計上となりました。

次に、79 ページの河川費の急傾斜地崩壊対策負担金につきましては、令和 6 年度の当初予算計上はゼロでございますが、今定例会におきまして、県の予算の前倒しを受けまして 373 万 9,000 円の増額補正をいたしました。この補正予算をもって、大木須地内の行人塚峠 1 地区につきましては事業完了となります。今後の事業展開につきましては、烏山土木事務所とよく協議をし、実施箇所を選定してまいりたいと思っております。新しい箇所が決定しました折には、予算計上をしてまいりたいと思っております。

次に、都市計画街路山手通り線、こちらにつきましては、先ほど申し上げましたとおり、市道部分、県道部分ということでございますので、市道部分につきましては市のほうの負担で実施をする、工事については、県で管理をしていただきますので、負担金という形で県のほうにお支払いするということになります。

続きまして、大桶運動公園の施設の整備、これは令和 6 年度で完了ということになります。

それから、清水川せせらぎ公園につきましては、これから利用者とのワークショップ等を開催し、幅広い年代の方から御意見をいただき、整備の計画をつくってまいりたいと思っております。

ます。何年かかるかということは、どういう公園にするかということにもよりますので、現時点では申し上げられませんのでよろしくお願いいたします。

それから、特定空家につきまして御質問でございましたので、特定空家につきまして御説明申し上げます。

空家特措法によりまして特定空家の定義をしております、4つありまして、まず1つが、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれがあるというものでございます。2つ目が、そのまま放置すれば、著しく衛生上有害となるおそれがあるというものでございます。3つ目が、適切な管理が行われていないことにより、著しく景観を損なっているというものでございます。4つ目が、周辺の生活環境の保全を図るため、放置することが不適切であるというものについて、特定空家ということで検討委員会のほうで決定することにより、特定空家と認定になります。

以上でございます。

○副議長（青木敏久） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 私のほうからは、3点、御質問にお答えしたいと思います。

先ほど相馬議員の御質問にお答えしましたように、防災重点農業ため池緊急整備事業費補助金でございます。1,500万円、こちらにつきましては、大桶地区の那場内溜の廃止工事によるものでございます。中山議員からの御質問については、これまでの事業実績、これからの見込みということでございます。重点防災ため池につきましては、令和3年度から4年度にかけて、市内の18か所の防災ため池の豪雨診断、劣化診断、耐性診断を実施しました。令和5年度につきましては、この診断結果に基づきまして、防災工事が必要なため池の実施設計の策定業務、これは18か所です。また、ため池の廃止工事に関わる実施設計の策定業務、1か所を実施したところでございます。この策定業務に基づきまして、令和6年度は、先ほどの大桶地区の那場内溜の工事を行うこととなってございます。ここまでが、国の補助金10分の10の事業になってございます。そして、防災工事の実施に当たっては、18か所の実施を予定するところでございますけれども、ここからは市の負担が生じてきます。国が55%、県が25%、市が20%の負担で、防災工事を実施するための実施設計、そして工事費がかかってきますので、こちらについては、優先的な順位、または工事を本当に必要かどうかという判断もありますけれども、これは国のほうで西日本豪雨に端を発しまして、防災工事の緊急点検工事を実施しろということでございますので、何らかの工事には着手していかなければならないと思いますので、令和6年度でその優先順位、または工事の方法等を考えまして、令和7年度から防災工事の実施設計18か所のうち、まず、何か所やるかを策定して、今後順次進めたい考えでございます。

続きまして、元気なものづくり推進事業費の市町村交付金405万5,000円でございます。

こちらにつきましては、令和4年度、令和5年度と中山議員から事業の予算取りが消極的だという御指摘を受けてございます。こちらにつきましては、地域住民、地域団体による里山林の継承事業でございます。令和2年度から、この里山林の整備管理事業の実施主体がまちづくり活動団体になったことから、なかなかこの活動組織を確保していくというのが難しい状況でございます。既にお知らせ版やホームページ等でも、里山林の整備に取り組む団体を募集しております。今後は、行政区長会議などでもこの事業の推進を図ってまいりたいと考えてございます。とちぎの元気な森づくり県民税を原資としますので、県からの100%補助ということで、里山林の整備には本当に有利な事業でございますけれども、どうしても地域団体が活動組織になりますので、そちらが立ち上がってこないことにはなかなかこの活用に至りませんので、引き続きこの活動団体の発掘に努めてまいりたいと考えてございます。

最後に、森林経営管理制度事業費の943万7,000円でございます。

これは、森林環境税を活用しました民有林の間伐植栽事業でございます。今年度は集積計画に15ヘクタール、間伐に12ヘクタールを予定してございます。効果としましては、手がつけられていない民有林の間伐、そして植栽、未来に向けての森林の保護ということで効果はあると考えてございますので、引き続き、この制度を利用した間伐事業を実施したいと考えてございます。

以上でございます。

○副議長（青木敏久） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 39ページ、歳出、令和6年4月1日職員採用の応募者関係の人数でございます。

16名応募がありました。1次募集では24名、そのうち7名が合格、2次募集では33名の応募があり、そのうち10名が合格、最終的に1名辞退しておりますので、16名の採用となっております。

以上です。

○副議長（青木敏久） 小原沢まちづくり課長。

○まちづくり課長（小原沢一幸） 45ページ、烏山線利用向上委員会交付金については、こちら、J R 烏山線の利用向上に係る情報共有及び利用向上の施策の検討をする委員会になりまして、そちらへの交付金になります。これらにより、こういった効果が期待できるかというところなんです、市民意識の向上と、J R 烏山線の利用向上の促進に効果が見込まれると考えております。

次に、47ページ、結婚新生活支援事業費補助金、こちらにつきましても、令和6年度より新規事業として実施するものでございます。内容につきましては、先ほど矢板議員の説明と同じになってしまいますが、どのような効果が期待できるかという部分につきましては、結婚新生活を支援することによりまして、結婚の推進や少子化対策の一助になればと考えております。

次に、太陽光発電の関係で、個人に出すのかという質問があったかと思うんですが、今回のエネルギー対策事業費につきましては、あくまで個人が対象となっておりますので、企業には補助はしないことになっております。

以上です。

○副議長（青木敏久） 星商工観光課長。

○商工観光課長（星 貴浩） 予算書73ページ及び113ページ関連で、経営課題解決事業補助、こちらでどんな効果が得られるのかというところについてお答えします。

今回の経営課題解決事業費補助金、そちらは、商工会の行う個別支援会に参加をすることというのが、この補助金を受けるための条件となっております。商工会の個別支援会に参加することで、そういった市内にある専門家、那須烏山商工会、そちらの専門家の視点による経営課題の洗い出し、それと、それに伴う実効性のある事業計画の策定、それと実行というのを行っていききたいと。そのため、よりこの事業が実効性のあるものになるということを狙っていることと、そういった経営相談をする商工会と事業者の連携を強くしていきたいと、そういった効果を狙っておるところでございます。

以上です。

○副議長（青木敏久） 黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美） 79ページの、大桶運動公園管理費で、烏山土地改良区の事務所については、令和5年5月に退去しております。

以上です。

○副議長（青木敏久） 14番中山五男議員。

○14番（中山五男） 一通りいただきましたよね。了解しました。

○副議長（青木敏久） ここで暫時休憩いたします。再開を15時25分といたします。

休憩 午後 3時14分

再開 午後 3時25分

○議長（渋井由放） 休憩前に引き続き再開いたします。

質疑はございませんか。

15番高田悦男議員。

○15番（高田悦男） 15番、高田悦男であります。

同僚議員からも同様の質疑がありましたが、私の提出した内容について一通り質疑を進めていきたいと思います。

まず、概要版4ページ、予防接種事業対象者及び対象者数をお尋ねいたしたいと思います。このおたふく風邪の予防接種ですが、おたふく風邪とは、どんな症状があつて皆さん気がつくのでしょうか。成人になってからも、私は、実はかかっているんです。40歳の頃ですが、子供が2人いましたので少子化の影響はないかと、このように、その時点で考えました。

次に、5ページ、社会福祉事業費、やはりこれも、対象者数、対象者をお聞きしたいと思います。

5ページ、带状疱疹予防接種事業費、これについても、対象者及び対象者数についてお尋ねいたします。

学校給食センター運営費、障害者の就労施設からの学校給食用パンの購入、支援策の数量等についてお聞きします。

7ページ、文化財調査費、この測量で得られた結果をどう生かすのか、お聞きします。

11ページ、J R 烏山線利用促進事業利用向上委員会の委員の選出及び促進事業の内容について、一通りお願いいたします。また、委員の公募等も考えているのでしょうか。

同じく11ページ、学校給食センター運営費、LED照明器具の取替えも必要なのか、ランプのみなのかお尋ねしたいと思います。この学校給食センターは、東日本大震災の後造られたものなんです。ですから、その当時は、もうLEDランプがあつたんです。ちょっと高価だったんですが、もう最初からLEDだったと私らは理解したんです。

12ページ、総合戦略推進事業費、事業の内容です。生涯学習施設整備計画策定事業費、整備計画の策定は委託にするのか。対象施設名、先ほど数字はお聞きしましたが、もう一度お願いいたします。その中で、緑地運動公園は、現在までに30年経過をしております。まず、バックスクリーンが破損しているんです。その辺は把握しているのでしょうか。あとは、多目的運動公園の外周に400メートルトラックの名残があるんです。その撤去が遅々として進まないで、ソフトボールでレフトを守っていると、足にちょっと違和感を感じますから、撤去を計画してください。

あとは、生涯学習施設です。図書館、武道館、災害発生時に避難所となるような施設ですよ。その準備は怠りなくできているのかどうか、お尋ねいたします。

以上です。

○議長（渋井由放） 水上こども課長。

○こども課長（水上和明） それでは、私のほうからは、概要版4ページ、予防接種事業の

中のおたふく風邪予防接種費の対象者、対象者数、また、おたふく風邪の症状についてお答えいたします。

対象者、対象者数でございますが、対象は1歳以上の未就学児としまして、1回3,000円を1人につき2回まで助成いたします。令和5年10月の1歳から6歳までの人口から接種見込み数を割り出しまして、170回分を予算計上させていただいたところでございます。

続きまして、おたふく風邪の症状ということでございますが、おたふく風邪は正式名称を流行性耳下腺炎と言いまして、その名のとおり、耳の前方下にある耳下腺炎という部分が炎症を起こしはれるものでございます。具体的な症状でございますが、2週間から3週間の潜伏期間を経まして症状が現れ始めます。耳のすぐ前方下方向にある耳下腺、あごのエラあたりにある顎下腺、あごにある舌下腺など唾液腺がはれ、物を飲み込むときに痛みを感じます。時間差はありますが、両側がはれることが多く、多くの場合、38度以上の高熱が出ますが、まれに発熱しないケースもあるということです。通常は1週間から2週間で症状は収まるということです。合併症としまして、難聴とか髄膜炎、精巣炎、卵巣炎などがある病気でございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（岡 誠） では、私のほうより健康福祉課に係るもの、2問ほど答弁させていただきます。

まず、概要版5ページ、社会福祉事業でございます。こちらのうちの1,455万円の増でございますが、こちらにつきましては、重層的支援体制整備事業のうち、新規事業である多機関協働事業の予算となります。対象者は、複合的な課題を持つ世帯となりまして、事案が発生して初めて対象者数が出てきますので、現時点では、人数は把握できないところでございます。

続きまして、同じく5ページ、带状疱疹予防事業の対象者及び対象者数でございますが、対象者につきましては、接種日において当市に住民登録がある50歳以上の方、令和5年4月1日付で1万4,450の方が対象になってございます。対象者数でございますが、当初予算では、そのうち4%の方を見込んでございまして、578人を見込んでおります。

以上です。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） 学校給食センター運営費の中で障害者施設、就労施設からの学校給食用パンの購入の支援策の数量等についてという御質問ですが、こちら、個数につきましては、小学校1年生につきましては220人、中学校3年生につきましては200人ということで、こちらの学校の先生の分も含めた数字で算出はしております。

続きまして、11ページの学校給食センター運営費のほうですけれども、こちら、学校給食センター内の照明器具の一部、ロビー、廊下、トイレなどにつきましては、もう既にLED照明を設置しておりますけれども、大部分の照明が蛍光灯です。こちら、ランプだけではなくて、LED照明器具を取り替える予定であります。

以上です。

○議長（渋井由放） 黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美） 生涯学習課関係についてお答えします。

まず、予算概要の7ページ、文化財調査費についてです。

測量図をどう生かすのかということなんですけれども、史跡烏山城跡の保存活用に向けて、市内の各地域に点在する史跡烏山城跡と同時期の城館、城、とりで、館などあるんですけれども、それを併せて活用することで、市内の周遊観光等に役立てていくための基礎資料とするために実施するものです。将来的には、そのデータを活用しまして、城館ごとに解説板を設置したり、烏山城を中心とした周遊観光等に役立てるなどの事業も考えられるところです。

続いて、概要版の12ページ、そちらの生涯学習施設整備計画策定事業についてです。

策定は委託にするのかという御質問については、業務委託を実施する予定です。対象施設については、24施設ということで、スポーツのほうは17か所、公民館などの社会教育施設が7か所、内訳としては、体育館が向田、野上、七合、烏山。弓道場が烏山、南那須。武道館が烏山と大金にあります那須烏山市武道館。そのほかにスポーツ健康館、いきいき交流館、B&Gプール。公民館としては、烏山公民館、烏山南公民館、境公民館、七合公民館、南那須公民館。図書館が2か所で烏山と南那須。それと屋外運動場の施設で6か所、大桶、緑地、烏山運動公園と烏山野球場、南那須運動場、愛宕台運動場になります。それと、緑地の施設整備の件ですけれども、破損箇所、バックスクリーンの破損、それと多目的運動場のほうのラインが残っていて危険という御指摘いただきました。そちらにつきましては、調査しまして、適正に処理してまいりたいと思います。

以上です。

○議長（渋井由放） 小原沢まちづくり課長。

○まちづくり課長（小原沢一幸） 概要版11ページ、JR烏山線利用促進事業費の利用向上委員会の選出、促進事業内容についてお答えいたします。

こちらの委員会のメンバーについては、行政機関のほか、JR、商工団体、観光団体、教育機関、そして議会代表の方を予定しております。委員会としましては、市民の皆様が烏山線を自分たちの大切な路線として利用していただくためのマイレール運動や、ACCUMが烏山線に導入されて10周年を迎えることから、記念事業などの実施を軸に、関係者の皆様から御意

見をいただいて進めていく予定であります。

なお、公募するかどうかということに関しましては、100周年実行委員会からの流れでの継続を考えておりますので、そちら、公募しておりませんので、今回も公募はしない方向で考えております。

以上です。

○議長（渋井由放） 菊池総合政策課長。

○総合政策課長（菊池義夫） 概要版12ページの総合戦略推進事業、新規事業になりますが、業務委託事業としまして、寄附を検討している企業に本市の地方創生事業のPRを実施して、本市への寄附を獲得するものでございます。完全成果報酬型ということで、寄附が発生した場合のみ委託料を支払う仕組みとなっております。当初予算においては、想定される寄附額を1,000万円確保しようということで、予算を220万円、20%の220万円と設定しております。今年度、複数の業者からも、そのマッチングするための営業を受けておりますので、複数の事業者とも、今後、契約ができれば検討していきたいと思っております。

以上です。

○議長（渋井由放） 15番高田悦男議員。

○15番（高田悦男） 一通り説明をいただきました。

おたふく風邪の予防接種に関しましては、1歳以上の幼児を含む対象者、対象者数を、今、3,000円で170回分を用意したということということですね。了解です。

5ページの社会福祉事業も了解しました。

带状疱疹の予防事業ですが、我々も対象になるわけですね、50歳以上は。了解しました。带状疱疹というのは、最初、寝たきりの人が多いのかと思ったら、いやいや、実はそうではないんですね。関係ないんですね。

学校給食センターについては、了解いたします。

文化財の調査費なんですが、実は烏山城跡のほか、森田城跡、小志鳥城跡、いろいろ私も見てきたんですが、なかなか手入れが行き届かないんです。ですから、そういう城巡りのコースをつくる際には、草刈りや歩道を整備して、ぜひ観光の目玉になるように取り組んでください。

11ページのJR烏山線利用向上委員会ですが、何名ぐらいで構成するのでしょうか。はつきり今の時点で分からなかったんです。

○議長（渋井由放） 小原沢まちづくり課長。

○まちづくり課長（小原沢一幸） 人数につきましては現在検討中ございまして、前回の100周年が20名前後でありましたので、そこまで増やすかどうかというのは今後検討することとなります。

以上です。

○議長（渋井由放） 15番高田悦男議員。

○15番（高田悦男） 最後の質問にしたいと思うんですが、実は、昨年3月定例会でも発言したかと思うんですが、関東大震災から101年目なんです、今年は。今、関東大震災級の地震が、房総半島を中心に群発地震が起きていますよね。あれは前触れかと思っていました。したがって、武道館も保健福祉センターも避難所になるわけですよね。その際には、問題は、トイレの設置だと思うんです。武道館ができたときに、庁舎と武道館の間に下水道が通っていて、ここに簡易トイレがつくることが可能ですよという説明を受けました。その準備が、果たしてできているのかどうか確認したいと思います。

○議長（渋井由放） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 現場を確認したところ、接続できるようなますが設置してあるのは確認しております。

○議長（渋井由放） 15番高田悦男議員。

○15番（高田悦男） そうすると、マンホールはあると思うんですが、肝腎なトイレの本体です。それが、どこにあるのか。職員の運べるところにあるのかどうか、その辺も確認しておきたいと思っています。

○議長（渋井由放） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） マンホールトイレは、実際には3個今現在所有しております。烏山公民館で対応する際、また、烏山武道館、那須烏山市武道館で使用する際、どちらも対応できるように、烏山庁舎の職員駐車場に防災倉庫を置いていますので、そこで保管し、有事の際使えるようにしております。

○議長（渋井由放） 15番高田悦男議員。

○15番（高田悦男） それでは、緊急時に防災倉庫から運ぶ体制、それを確認しておいていただきたいと思います。

○議長（渋井由放） よろしいですか。佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 実際には、その設置を実際にどのようにするかについては、3月中に、職員を通して確認する予定でございます。

なお、今の設置する体制につきましては、今ある災害対策本部の中で組織的に対応できるようになっておりますので、それに準じて対応していきたいと思っています。

○議長（渋井由放） 15番高田悦男議員。

○15番（高田悦男） 運搬ができる状態ならいいですよ、道路が。その設置場所には、おのおの置いたらいいのかと思うんです。分けて、該当の施設。そうすれば、何があっても慌

てることはないような気がします。

以上です。

○議長（渋井由放） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 市内全域に、もしそういう災害が起こった場合、3つでは足りないので、そういった準備も含めまして、新年度以降、もう少し設置数を増やせるよう、マンホールトイレを購入できるような体制は今後考えていきたいと思います。

○議長（渋井由放） 15番高田悦男議員。

○15番（高田悦男） 了解。

○議長（渋井由放） 次に、ございませんか。

16番平塚英教議員。

○16番（平塚英教） 令和6年度の市当初予算総括質疑でございますが、私が最後の質問者となりました。

あらかじめ、15項目質問通告をしておったんですが、皆さんの熱心な質疑の中で大分淘汰されまして、これから何問か確認できなかった点について再確認をしたいと思います。

まず、概要版の7ページなんですけども、大桶運動公園の施設整備についてなんですけど、運動公園の管理棟の改修、もろもろ改修の話がありました。これについては、重複しますのかもしれませんが、いつ頃までに完成をするということでこれを進めようとしているのか、御回答お願いいたします。

次に、同じ7ページでございますが、文化財の調査費ということで、これも同僚議員のほうから質問がございました。烏山城跡をはじめとした市内34城館跡の測量図の作成、このプラス841万5,000円というのは、このプラスというのは今回いろんなところに出てくるんですが、去年の予算にプラスしたというような意味なんでしょうか。これがちょっとよく分からないので、そこをもう一度確認したいと思います。

いずれにしても、これについては、令和6年度単独で完成するようなことなのか、これから何年かけて、この34城館跡の測量図を作成するというようなことなのか、この点について再確認をしておきたいと思います。

次に、概要版の11ページ、防災集団移転促進事業でございます。

移転先候補地の旧境小解体工事ということで、1億4,080万円ということなんですけども、先ほど同僚議員の質問を聞いておりますと、国からの助成はいただけないということだそうです。私、一般質問等で、下境で当時の対象戸数は71件でした。昨日の防災調査特別委員会では61件が対象者というような説明でございました。それで、先ほどの質問で、この防災移転先の対象候補地の旧境小学校を解体して、敷地を用意しても14区画しかできな

いと。こういうことでは、移転先の対象にはならない。全体を移転するというわけにはいかないんじゃないかと。

そこで、私は、一般質問で、例えば高峰パークタウン、ここには1工区が16区画、まだ売れなくて残っています。高峰パークタウンの2工区は69残っております。こういうところを候補地にしてはどうかという話をしたんですが、それも視野に入れながら検討するということでございました。今回の1億4,080万円、これ、壊すだけですよね。そこに進入路を入れて、さらに造成をして、そして危なくないような体制をつくると。要するに、移転地としてつくるといって、少なくとも1億4,000万円ではできないわけですよね。相当な金額がここに投下されると思われます。少なくともこの1億4,080万円を高峰パークタウンでは1区画300万円で売っているんです。全部仕上がっているんです。1区画300万円で、この1億4,000万円を割りますと、46.66、47区画確保できるんです。だから、そういう意味で、あまりにも国のほうにこうしますよということで、これを申請しながら進めているんだろうと思うんだけど、現地の旧境小学校というのは山を抱えているんです。雨が降るたびに、山からの土砂が県道に流れ込むようなところなんです。だから、そういう点も含めて、本当に大丈夫なのというのが地元の方の意見でございます。

そういう点で、これを進めても14区画しかできないということでございますので、ほかの方も移転できるように、補正予算か何かで調査費を入れたと思うんです。それが一体どんなふうになっているのか説明をお願いできればと思います。

それと、昨日の防災対策調査特別委員会でも確認をしましたが、要するに那珂川に、これは市がやっているんじゃなくて国土交通省がやっているんですけども、霞堤を整備しているんです。新聞報道では、3月末までに220メートル完成するということなんだけど、全体計画が1.8キロで5.6メートルの高さで整備されると。したがって、上流からは、下境地区に那珂川からの越水はないと。下流から入ってきて、そして自然流下で流れると、こういうことではなかったかと思うんです。したがって、この1.8キロ、かさ上げも五、六メートルということで、上に管理道路ができるという前の説明だったんですが、その工事内容には全く間違いはないのか、必ずそれをつくるということで国にちゃんと確認を取っていただきたいんですが、その一番下流は、要するに解石側の水を那珂川に流しますよね。そこまではできるというような考えでよろしいんですか。1.8キロの末というのは。そのところももう一度確認しておきたいと思います。

次に、同じ11ページの清水川せせらぎ公園整備費、これも去年の11月の全員協議会で、市の方針が確認取れました。ぜひ進めていただきたいと思うんですが、問題は、都市公園化できないかということなんです。都市公園化すれば、国からの補助が得られると思うんだけど、

下が清水川ですから、那珂川の支流になっているんで、それを暗渠にしている。だから、川の部分が広がっているという位置づけなんだと思うんだけど、本当に川の部分というのは少ないんだと思うんだよね。そこのところを明確に、国や県のほうに確認して、そして、残った部分は公園ですとできないかどうか、その点をもう一度確認したいと思います。

最後は、これは質問に出してなかったんですが、皆さんの質問の中でなかったのは、橋梁等の維持管理費で、令和5年度までに青雲橋は完了したということなんですけども、橋梁等の点検、修繕ということで4,800万円計上しておりますが、今後、対象とする橋梁はどこのか、その点について確認をしておきたいと思います。

以上。

○議長（渋井由放） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） まず、概要版7ページ、大桶運動公園の施設整備費につきましては、令和5年度完了ということで予定をしております。失礼しました、令和6年度です。令和6年度末ということで、令和7年の3月までということでお願いいたします。

続きまして、防災集団移転促進事業費につきまして、別の場所も検討ということでございますが、まず、この防災集団移転促進事業の最初のスタートというのが、地域のコミュニティーを守りながら移転をしましょうということでございますので、まずは下境周辺に移転先を見つけるということで考えておりますので、旧境小ということで考えております。

今回第1期ということで計画をしますが、第2期、第3期ということにつきまして、これから地元の方とよく調整しながら、場所につきましては選定をしていきたいと考えております。

それから、霞堤につきましては、国でやっている事業でございますが、計画にぶれはございませんので、1.8キロメートル全て整備するということで間違いのないと思います。

続きまして、清水川のせせらぎ公園の整備、都市公園化ということでございますが、平塚議員おっしゃったとおり、なかなか河川とか砂防ということで難しい面、プラス都市公園化になっても都市公園で補助をいただくには事業費が1億5,000万円を超えないと該当にならないということですので、市内のちょうどいい公園ということで、そこまで大がかりな公園ではなく、皆様に親しみが持っていただける公園整備を進めていきたいと。都市公園については、できないということで申し上げます。

それから、橋梁維持管理費4,800万円につきましては、道路施設の長寿命化に基づきまして2巡目が終了しまして、令和6年度におきましては、月次にかかっています八斗蒔橋、こちらのPCB除去の工事を進めてまいりたいということで、そちらに3,000万円計上しております。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美） 概要版の7ページ、文化財調査費についてお答えします。

まず、2点です。1点目が、こちらのプラス、数字の部分の記入についてですけれども、これは測量図の作成業務の金額ということで、対前年とかではなく、この事業費を表しております。

それと、期間についてなんですけれども、こちらの事業自体が国庫の補助事業になっております。補助金の決定額に応じまして、期間のほう変わってくるかと思っておりますので、今の時点では未定というか、進めながら決定していくということになります。

以上です。

○議長（渋井由放） 16番平塚英教議員。

○16番（平塚英教） 大体分かりました。文化財関係は、この8,841万5,000円で34の城館全部測量する見込みということですね。これ全部が国庫補助ということなんですか。もう一度確認。

次に、防災集団移転促進事業なんですけれども、なるべく地元というような、今、お話ありましたが、例えば平井なんか非常に地元としては移転するのにいいと思っているんですけども、埋蔵文化財の関係で、あそこは無理なんだよね。そのほか、外城平も川辺のほうの鉄塔が建っているところも全部浸水想定区域で、移転候補地にはならないんですよ。野上の、シモノ大橋渡って上の畑、あるいは非常に移転するのはすばらしいんですけども、あそこは農振地域で、これも活用はできないと考える。そうすると、高峰の利用しか考えられないんだけど、どうなんですか。そこは候補地として使えないんでしょうか。もう一度確認をしておきたいと思います。清水川せせらぎ公園の都市公園化はできないということなんですよ。分かりました。

それで、あとは青雲橋のあれは完成したけども、月次の八斗蒔橋の、これは塗装塗り替えという考え方でよろしいんですか、を令和6年度はやるということでもいいんですね。それを確認しておきたいと思います。

○議長（渋井由放） 黒尾生涯学習課長。

○生涯学習課長（黒尾明美） 文化財調査費につきまして、お答えします。

対象は34全ての城館になります。

以上です。

○議長（渋井由放） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） 防災集団移転の移転先でございますが、旧境小学校につきましては、市の所有地ということで計画できるということで、第1期のほうはそちらで計画をさせていただいているというところでございます。

それから、橋梁の修繕関係につきましては、P C Bの除去ということで塗装の塗り替え等を実施してまいるところでございます。

○議長（渋井由放） 16番平塚英教議員。

○16番（平塚英教） 防災集団移転の関係なんですけども、1億4,000万円かけて14区画しかできないというところなんですけども、高峰のほうは1区画300万円で売っていますよ。片方は1億4,000万円にこれから上乗せするか分からないわけなんですけども、そこは330平米で幾らで、ただで移転してもらうのか、お金を出してもらって負担してもらうのか。そうすると、莫大な負担になってしまうんじゃないでしょうか。そこは大丈夫ですか。高峰ならば300万円で。

○議長（渋井由放） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） 1区画幾らになるかということにつきましては、造成費等を勘案しまして1区画幾らということになりますので、賃貸もしくは売買ということになります。以上です。

○議長（渋井由放） 16番平塚英教議員。

○16番（平塚英教） 納得はできないけど、分かりました。

○議長（渋井由放） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（渋井由放） 質疑がないようですので、議長において議事を進行し、これで質疑を打ち切ることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（渋井由放） 異議なしと認めます。

よって、これで質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま上程中の議案第1号から議案第8号までの令和6年度当初予算については、所管の常任委員会に付託したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（渋井由放） 異議なしと認めます。よって、議案第1号から議案第8号までの令和6年度那須烏山市一般会計予算、令和6年度那須烏山市国民健康保険特別会計予算、令和6年度那須烏山市熊田診療所特別会計予算、令和6年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計予算、令和6年度那須烏山市介護保険特別会計予算、令和6年度那須烏山市境財産区特別会計予算、令和6年度那須烏山市水道事業会計予算、令和6年度那須烏山市下水道事業会計予算の令和6年度当初予算の8議案については、それぞれの所管の常任委員会に付託いたします。

○議長（渋井由放） 以上で本日の日程は全部終了いたしました。次の本会議は3月13日水曜日、午前10時に開きます。

本日はこれで散会いたします。お疲れさまでございました。

〔午後 4時09分散会〕